

取扱説明書

ColorEdge® CG245W

カラーマネージメント液晶モニター

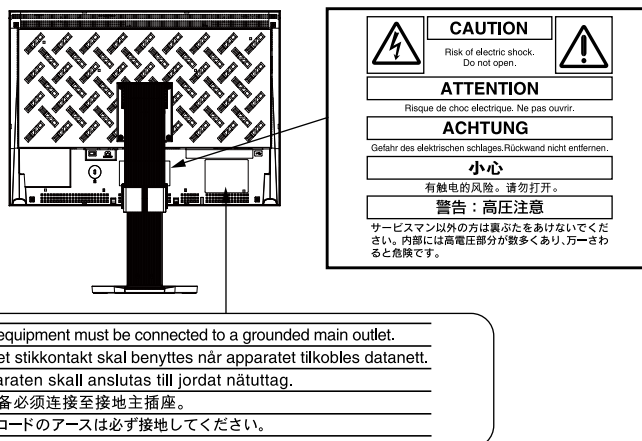
重要

ご使用前には必ず使用上の注意、本取扱説明書およびセットアップガイドをよくお読みになり、正しくお使いください。

- コンピュータとの接続から使いはじめるまでの基本説明についてはセットアップガイドをお読みください。
- 最新の取扱説明書は、当社のホームページからダウンロードできます。
<http://www.eizo.co.jp>



● 警告表示位置



この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。
また、製品の付属品（ケーブル含む）や当社が指定するオプション品を使用しない場合、VCCI の技術基準に適合できない恐れがあります。

VCCI-B

本装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

本装置は、高調電波電流を抑制する日本工業規格 JIS C 61000-3-2 に適合しております。

製品の仕様は販売地域により異なります。お買い求めの地域に合った言語の取扱説明書をご確認ください。

本製品は、オフィス機器の安全性、エルゴノミクス、環境等に関する TCO 規格を取得しています。規格の概要は当社のホームページからご覧いただくことができます。

<http://www.eizo.co.jp>

Copyright © 2010 - 2011 株式会社ナナオ All rights reserved.

- 1.本書の著作権は株式会社ナナオに帰属します。本書の一部あるいは全部を株式会社ナナオからの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
- 2.本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 3.本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- 4.本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

Adobe は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標です。

Apple、ColorSync、Mac OS、Macintosh は Apple Inc. の登録商標です。

Windows、Windows Vista は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

本製品上で表示される文字には、株式会社リコーが制作したビットマップフォント丸ゴシックボールドを使用しています。

VESA は Video Electronics Standards Association の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

ColorNavigator、UniColor Pro は株式会社ナナオの商標です。

EIZO、EIZO ロゴ、ColorEdge は株式会社ナナオの日本およびその他の国における登録商標です。

その他の各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

モニターについて

本製品は、文書作成やマルチメディアコンテンツの閲覧など一般的な用途の他、色の再現性を重視するグラフィック制作やデジタルフォト加工の用途にも適しています。

本製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

本書に記載されている用途以外での使用は、保証外となる場合があります。

本書に定められている仕様は、付属の電源コードおよび当社が指定する信号ケーブル使用時にのみ適用いたします。

本製品には、当社オプション品または当社が指定する製品をお使いください。

製品内部の電気部品の動作が安定するのに、30分程度かかりますので、モニターの調整は電源を入れて30分以上経過してからおこなってください。

経年使用による輝度変化を抑え、安定した輝度を保つためには、ブライトネスを下げても使用されることをおすすめします。

同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えることがあります。長時間同じ画像を表示する場合は、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。

本製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをおすすめします。
(次ページ「[クリーニングのしかた](#)」参照)

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素が見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。また、有効ドット数の割合は99.9994%以上です。

液晶パネルに使用されるバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、販売店またはエイゾーサポートにお問い合わせください。

液晶パネル面やパネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉縞が発生するなど表示異常を起こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、液晶パネル面に圧力を加えたままにしておきますと、液晶の劣化や、パネルの破損などにつながる恐れがあります。(液晶パネルを押したあとが残った場合、画面全体に白い画像または黒い画像を表示すると解消されることがあります。)

液晶パネルを固いものや先の尖ったもの(ペン先、ピンセット)などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷がつく恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。

本製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります(結露)。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

クリーニングのしかた

注意点

- 溶剤や薬品（シンナーやベンジン、ワックス、アルコール、消毒薬、その他研磨クリーナーなど）は、キャビネットや液晶パネル面をいためるため絶対に使用しないでください。
-

● 液晶パネル面

- 汚れのふき取りにはコットンなどの柔らかい布や、レンズクリーナー紙のようなものをご使用ください。
- 落ちにくい汚れは、付属の「ScreenCleaner」をご利用いただくか、少量の水をしめらせた布でやさしくふき取ってください。ふき取り後、もう一度乾いた布でふいていただくと、よりきれいな仕上がりとなります。

● キャビネット

- 柔らかい布を中性洗剤でわずかにしめらせ、汚れをふき取ってください。

モニターを快適にご使用いただくために

- 画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響をおよぼすことがあります。状況に応じてモニター画面の明るさを調整してください。
- 長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1時間に10分程度の休憩を取ってください。

もくじ

表紙	1	2 - 6. 動画性能を設定する [オーバードライブ]	26
モニターについて	3	第3章 モニターの設定をする	27
もくじ	5	3 - 1. モード選択の有効 / 無効を設定する [モード設定]	27
第1章 はじめに	7	3 - 2. 操作ボタンをロックする [操作ロック]	27
1 - 1. 特長	7	3 - 3. EIZO ロゴ表示を設定する [起動ロゴ]	28
1 - 2. 各部の名称と機能	8	3 - 4. 設置方向を設定する [設置方向]	28
1 - 3. ユーティリティディスクについて	9	3 - 5. 表示言語を設定する [言語選択]	29
● ディスクの内容と概要	9	3 - 6. 対応周波数範囲を設定する [入力信号帯域]	29
● ColorNavigator を使用するときは	9	3 - 7. 調整メニューの表示位置を設定する [メニューポジション]	30
1 - 4. 基本操作と機能一覧	10	3 - 8. フロントボタンの明るさを設定する [ランプ輝度]	30
メニューの基本操作方法	10	3 - 9. お買い上げ時の設定に戻す	31
ボタンガイドを表示する	11	● カラー調整値をリセットする [カラーリセット]	31
機能一覧	12	● すべての設定内容をリセットする [オールリセット]	31
第2章 画面を調整する	14	第4章 SelfCalibration について	32
2 - 1. 画像の解像度を設定する	14	4 - 1. SelfCalibration を実行する [調整実行]	32
表示解像度	14	4 - 2. 調整結果を確認する [結果閲覧]	32
表示解像度の設定方法	15	4 - 3. 調整内容を設定する [設定]	33
● Windows 7 の場合	15	● SelfCalibration を実行するモードを設定する [モード選択]	33
● Windows Vista の場合	15	● 調整目標を設定する [目標]	33
● Windows XP の場合	15	● モニターの日時を設定する [時計合わせ]	34
● Mac OS X の場合	15	● 調整スケジュールを設定する [スケジュール]	35
2 - 2. 信号の出力レンジを拡張する [レンジ拡張]	16	第5章 省電力機能について	36
2 - 3. 画面を正しく表示する	16	5 - 1. パワーセーブの設定をする [パワーセーブ]	36
デジタル信号入力の場合	16	第6章 こんなときは	37
アナログ信号入力の場合	16	第7章 ご参考に	41
2 - 4. カラー調整をする	20	7 - 1. アームを取り付ける	41
● 表示モード (カラーモード) を選ぶ	20	7 - 2. 2台以上のコンピュータを接続する	42
● 詳細な調整をする	21	● 入力信号を切り替える	43
● 各モードの調整項目	21	● 入力信号の切替方法を設定する [入力切替]	43
● ブライトネス (明るさ) を調整する [ブライトネス]	22	7 - 3. USB(Universal Serial Bus) の活用について	44
● コントラストを調整する [コントラスト]	22	● 必要なシステム環境	44
● 色温度を調整する [色温度]	22	● 接続方法 (USB 機能のセットアップ方法)	44
● ガンマを調整する [ガンマ]	23		
● 色合いを調整する [色合い]	23		
● 色の濃さを調整する [色の濃さ]	23		
● 輪郭補正をする [輪郭補正]	24		
● ゲインを調整する [ゲイン]	24		
● 黒レベルを調整する [黒レベル]	24		
● 6色調整をする [6色調整]	25		
2 - 5. 推奨解像度以外でご使用の場合	26		
● 表示サイズを切り替える [画面サイズ]	26		

もくじ

7 - 4. モニター情報を表示する	45
● 信号情報を表示する [信号情報]	45
● モニター情報を表示する [モニター情報]	45
7 - 5. 仕様	46
7 - 6. 用語集	50
7 - 7. プリセットタイミング	53
アフターサービス	54
TCO'03	56

第1章 はじめに

このたびは当社カラー液晶モニターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

1 - 1. 特長

- ・ 24 型ワイド画面
- ・ Adobe® RGB カバー率 98%
- ・ 解像度 1920 × 1200 対応
- ・ 著作権保護技術 HDCP 対応
- ・ フレーム同期モード対応周波数：23.75 ～ 30.5Hz、47.5 ～ 61Hz
- ・ DisplayPort 対応（8bit または 10bit に対応、音声は非対応）
- ・ 3 系統信号入力搭載（DVI-I × 2、DisplayPort × 1）
- ・ カラーモード機能を搭載
 - Adobe® RGB や放送規格「EBU/REC709/SMPTE-C」、デジタルシネマ規格「DCI」で定められた色域・ガンマを再現可能
 - [「2 - 4. カラー調整をする」\(P.20\)](#) 参照
- ・ モニター 1 台ごとの工場出荷時の階調特性とユニフォミティ特性をデータ化した、調整データシート付属
- ・ 縦型表示対応（時計回りに 90° 回転）
- ・ 遮光フード標準添付
- ・ フロントボタンが光り、暗い場所での操作性が向上
 - [「3 - 8. フロントボタンの明るさを設定する \[ランプ輝度\]」\(P.30\)](#) 参照
- ・ 測色センサーを内蔵し、SelfCalibration（セルフキャリブレーション）によるモニター単独でのキャリブレーションに対応
 - [「第 4 章 SelfCalibration について」\(P.32\)](#) 参照
- ・ モニター特性の測定と調整、カラープロファイルの作成が可能なキャリブレーションソフトウェア「ColorNavigator」を添付
 - [「1 - 3. ユーティリティディスクについて」\(P.9\)](#) 参照
- ・ 色覚シミュレーションソフトウェア「UniColor Pro」対応
- ・ 当社ホームページ <http://www.eizo.co.jp> からダウンロードできます。
- ・ 省電力機能
 - 本機は省電力のための機能を搭載しています。
 - 主電源オフ時消費電力 0W
 - 主電源スイッチを装備
 - モニターを使用しない時は、主電源を切ることで、確実に電源供給が停止します。

注意

遮光フードを使用する際は以下の点に注意してください。

- **モニターを移動するときは、フードを外す**
移動中にフードが外れて落下し、けがや破損の原因となります。
- **フードの上に物を置かない**
フードの落下、モニターの転倒によるけが、破損の原因となります。

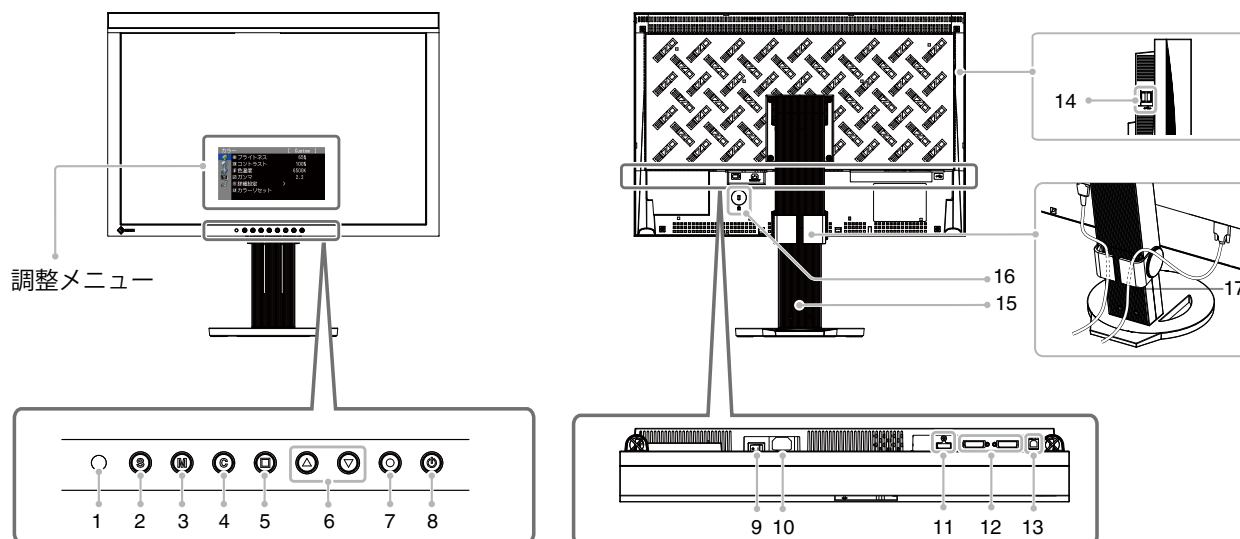
注意点

- ・ 内蔵センサーの測定精度に影響がでる場合がありますので、温度 30℃以下および湿度 70%以下の環境での保管・使用をおすすめします。また、直射日光下での保管・使用を避けてください。

参考

- 本機はモニターの縦型表示に対応しています。縦型表示にした場合は、調整メニューの向きも変更することができます（「3 - 4. 設置方向を設定する [設置方向]」（P.28）参照）。
- モニターを縦型表示するためには、縦型表示対応のグラフィックスボードが必要です。モニターを縦型表示にした場合、ご使用のグラフィックスボードの設定を変更する必要があります。詳細は、グラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。

1 - 2. 各部の名称と機能



1	環境光センサー	環境光を測定するセンサーです。
2	Ⓢボタン	表示する入力信号を切り替えます。
3	Ⓜボタン	カラーモードを切り替えます。
4	Ⓒボタン	SelfCalibration メニューを表示します。
5	Ⓔボタン	調整 / 設定をキャンセルしたり、調整メニューを終了します。
6	Ⓐ/Ⓡボタン	調整メニューを使って詳細な調整をする場合に、調整項目を選択したり、調整値を増減します。
7	Ⓟボタン	調整メニューを表示し、各メニューの調整項目を決定したり、調整結果を保存します。
8	Ⓢボタン	電源のオン / オフを切り替えます。 モニターの動作状態を表します。 青 : 画面表示 青点減 : 次の場合に再キャリブレーション実行の必要性を通知 (すばやく 2 回) • ColorNavigator でタイマーを設定した場合 (CAL モード) • SelfCalibration のスケジュールを設定した場合 橙 : 省電力モード 消灯 : 主電源スイッチ / 電源ボタンオフ
9	主電源スイッチ	主電源のオン / オフを切り替えます。
10	電源コネクタ	電源コードを接続します。
11	信号入力コネクタ	DisplayPort コネクタ × 1
12	信号入力コネクタ	DVI-I コネクタ × 2 (左: DVI-1/ 右: DVI-2)
13	USB ポート (UP)	USB 接続が必要なソフトウェア、USB ハブ機能を使用する場合に USB ケーブルを接続します。
14	USB ポート (DOWN)	USB に対応している周辺機器と接続できます。
15	スタンド	高さや角度が調整できます。
16	盗難防止用ロック	Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。
17	ケーブルホルダー	ケーブルを収納します。

1 - 3. ユーティリティディスクについて

本機には「EIZO LCD ユーティリティディスク」(CD-ROM) が付属しています。ディスクの内容やソフトウェアの概要は、下記を参照してください。

● ディスクの内容と概要

ディスクには、調整用のソフトウェア、取扱説明書が含まれています。各項目の起動方法や参照方法はディスク内の Readmeja.txt または「お読みください」を参照してください。

項目	概要	Windows 用	Macintosh 用
Readmeja.txt または「お読みください」ファイル		○	○
ColorNavigator	モニター特性の測定と調整、ICC プロファイル (for Windows)、Apple ColorSync プロファイル (for Macintosh) の作成がおこなえるソフトウェアです。 (USB ケーブルによるモニターとコンピュータの接続が必要です。)	○	○
画面調整ユーティリティ	アナログ信号入力の画面を手動で調整する際に使用するパターン表示ソフトウェアです。	○	—
画面調整パターン集	アナログ信号入力の画面を手動で調整する際に役立つパターン集です。画面調整ユーティリティが、ご使用のコンピュータに対応していない場合、このパターン集を使って調整することができます。	○	—
取扱説明書 (PDF ファイル)		○	○

● ColorNavigator を使用するときは

インストール方法、使用方法については、ディスク内の取扱説明書を参照してください。ソフトウェアを使用する場合は、モニターとコンピュータを付属の USB ケーブルで接続してください。詳細は、「[7 - 3. USB\(Universal Serial Bus\) の活用について](#)」(P.44) を参照してください。

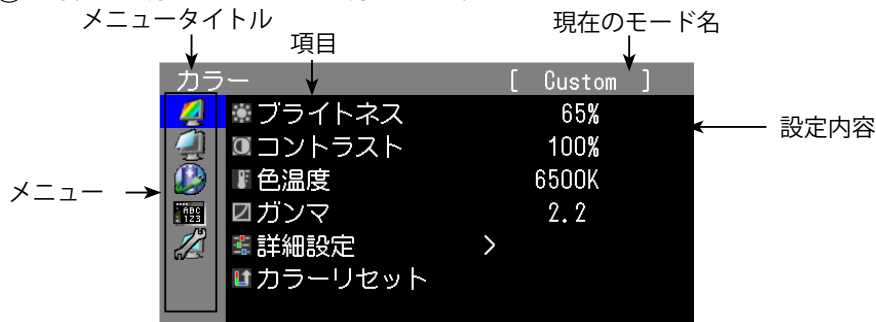
1 - 4. 基本操作と機能一覧

メニューの基本操作方法

1 メニューの表示

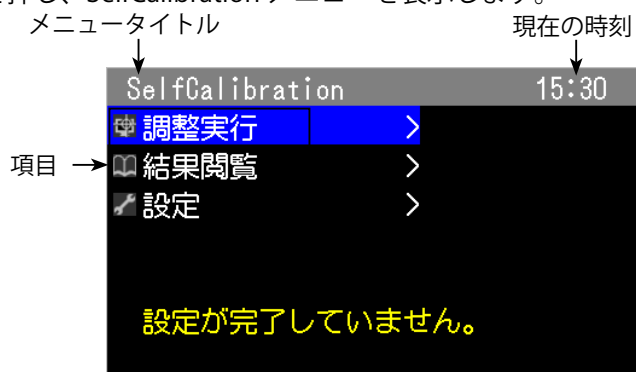
調整メニューの表示

● を押し、調整メニューを表示します。



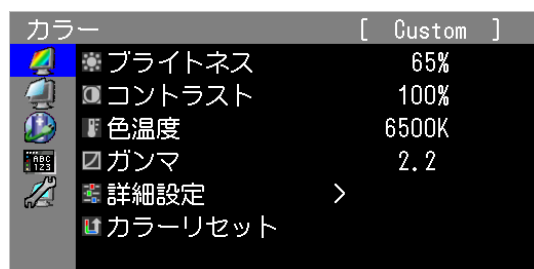
SelfCalibration メニューの表示

● を押し、SelfCalibration メニューを表示します。

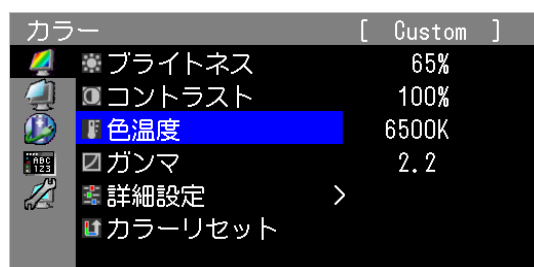


2 調整 / 設定

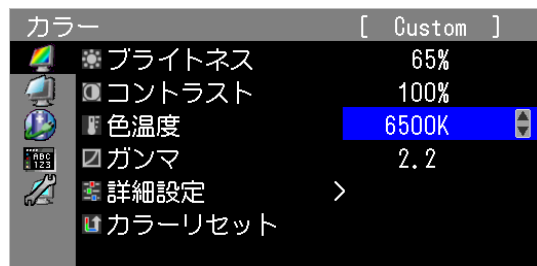
1. ▲▼ で、調整 / 設定したいメニューを選択し、● を押します。



2. ▲▼ で、調整 / 設定したい項目を選択し、● を押します。



3. ▲▼ で、調整 / 設定し、● を押して確定します。

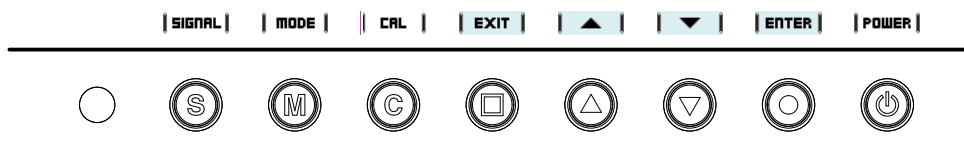


3 終了

□ を数回押すと、メニューを終了します。

ボタンガイドを表示する

フロントボタン（● ボタン除く）を押すと、ボタンの上にボタンガイドが表示されます。
(縦置きにしている場合には、ボタンの横に表示されます。)




参考

- 調整メニューおよびモードメニュー表示中は、ボタンガイドが常に画面に表示されます。
- ボタンガイドの表示は、表示しているメニューや状態によって異なります。
- CAL モードでは ▲▼ ボタンの上にボタンガイドが表示されますが、輝度の調整はできません。

機能一覧

調整メニューの調整および設定項目一覧表です。

メインメニュー	項目	調整 / 設定内容
カラー 	 ブライツネス	「2 - 4. カラー調整をする」 (P.20)
	 コントラスト	
	 色温度	
	 ガンマ	
	 詳細設定  色合い	
	 色の濃さ	
	 輪郭補正	
	 ゲイン  黒レベル  6色調整	
 カラーリセット	「3 - 9. お買い上げ時の設定に戻す」 (P.31)	
スクリーン 	 画面サイズ	「2-5. 推奨解像度以外でご使用の場合」 (P.26)
	 レンジ拡張	「2 - 2. 信号の出力レンジを拡張する [レンジ拡張]」 (P.16)
	 アナログ調整  自動調整	「2 - 3. 画面を正しく表示する」 (P.16)
	 レンジ調整	
	 クロック	
	 フェーズ	
	 水平ポジション	
	 垂直ポジション	
PowerManager 	 パワーセーブ	「5-1. パワーセーブの設定をする [パワーセーブ]」 (P.36)
	 ランプ輝度	「3-8. フロントボタンの明るさを設定する [ランプ輝度]」 (P.30)
メニュー設定 	 言語選択	「3-5. 表示言語を設定する [言語選択]」 (P.29)
	 設置方向	「3-4. 設置方向を設定する [設置方向]」 (P.28)
	 メニューポジション	「3-7. 調整メニューの表示位置を設定する [メニューポジション]」 (P.30)
ツール 	 入力切替	「7 - 2. 2台以上のコンピュータを接続する」 (P.42)
	 オーバードライブ	「2 - 6. 動画性能を設定する [オーバードライブ]」 (P.26)
	 モード設定	「3 - 1. モード選択の有効 / 無効を設定する [モード設定]」 (P.27)
	 入力信号情報	「7 - 4. モニター情報を表示する」 (P.45)
	 モニター情報	
	 オールリセット	「3 - 9. お買い上げ時の設定に戻す」 (P.31)

※<カラー>メニューで調整 / 設定できる機能はモード P.21 により異なります。(「2-4. カラー調整をする」 (P.20) 参照)

SelfCalibration メニューの調整および設定項目一覧表です。

メインメニュー	項目	調整 / 設定内容	
SelfCalibration	 調整実行	「4-1. SelfCalibration を実行する [調整実行]」 (P.32)	
	 結果閲覧	 調整結果  環境光	「4-2. 調整結果を確認する [結果閲覧]」 (P.32)
	 設定	<input checked="" type="checkbox"/> モード選択  目標  スケジュール  時計合わせ	「4 - 3. 調整内容を設定する [設定]」 (P.33)

第2章 画面を調整する

2 - 1. 画像の解像度を設定する

表示解像度

本機は以下の解像度に対応しています。

アナログ信号入力時

解像度	対応信号	垂直周波数	ドットクロック
640 × 480	VGA	60 Hz	170 MHz (Max.)
720 × 400	VGA TEXT	70 Hz	
800 × 600	VESA	60 Hz	
1024 × 768	VESA	60 Hz	
1280 × 960	VESA	60 Hz	
1280 × 1024	VESA	60 Hz	
1600 × 1200	VESA	60 Hz	
1680 × 1050	VESA CVT	60 Hz	
1920 × 1080	CEA-861	60 Hz	
1920 × 1200 [*]	VESA CVT RB	60 Hz	

デジタル信号入力時

解像度	対応信号	垂直周波数	ドットクロック
640 × 480	VGA	60 Hz	164.5 MHz (Max.)
720 × 400	VGA TEXT	70 Hz	
800 × 600	VESA	60 Hz	
1024 × 768	VESA	60 Hz	
1280 × 960	VESA	60 Hz	
1280 × 1024	VESA	60 Hz	
1600 × 1200	VESA	60 Hz	
1680 × 1050	VESA CVT	60 Hz	
1920 × 1080	CEA-861	60 Hz	
1920 × 1200 [*]	VESA CVT RB	60 Hz	

VESA 規格に準拠したグラフィックスボードが必要です。

^{*} 推奨解像度です。

表示解像度の設定方法

モニターをコンピュータに接続したときに適切な解像度で表示されない場合、または解像度を変更したい場合は、次の手順で解像度を変更します。

● Windows 7 の場合

1. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
2. 表示されるメニューから「画面の解像度」をクリックします。
3. 「画面の解像度」ダイアログで、モニターを選択します。
4. 「解像度」をクリックして変更したい解像度を選択します。
5. 選択したら、[OK] ボタンをクリックします。
6. 確認のダイアログが表示されるので、[変更を維持する] ボタンをクリックします。

● Windows Vista の場合

1. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
2. 表示されるメニューから「個人設定」をクリックします。
3. 「個人設定」ウィンドウで「画面の設定」をクリックします。
4. 「画面の設定」ダイアログで「モニタ」タブを選択し、「解像度」の欄から変更したい解像度を選択します。
5. 選択したら、[OK] ボタンをクリックします。
6. 確認のダイアログが表示されるので、[はい] ボタンをクリックします。

● Windows XP の場合

1. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
2. 表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。
3. 「画面のプロパティ」ダイアログが表示されるので、「設定」タブをクリックし、「ディスプレイ」の「画面の解像度」で解像度を選択します。
4. 選択したら、[OK] ボタンをクリックして、ダイアログを閉じます。

● Mac OS X の場合

1. アップルメニューの「システム環境設定」をクリックします。
2. 「システム環境設定」ダイアログが表示されるので、「ハードウェア」欄の「ディスプレイ」をクリックします。
3. 表示されたダイアログで「ディスプレイ」タブを選択し、「解像度」の欄から変更したい解像度を選択します。
4. 選択したらすぐに画面が変更されるので、適切な解像度に設定したらウィンドウを閉じます。

2 - 2. 信号の出力レンジを拡張する [レンジ拡張]

入力信号に対応するため、信号の範囲を 64/1023 ~ 1019/1023 から 0/1023 ~ 1023/1023 へ拡張します。

設定方法

1. 調整メニューの<スクリーン>メニューを選択し、**●**を押します。
2. <スクリーン>メニューで<レンジ拡張>を選択し、**●**を押します。
3. **▲**または**▼**で「オン」を選択します。
4. 設定が完了したら **●**を押します。

注意点

- CAL モードを表示中は設定できません。

2 - 3. 画面を正しく表示する

デジタル信号入力の場合

デジタル信号入力の場合は、本機の設定データに基づいて画面が正しく表示されますが、詳細な調整をおこなう場合は「2 - 4. カラー調整をする」(P.20) 以降を参照してください。

アナログ信号入力の場合

注意点

- 調整はモニターの電源を入れて、30分以上経過してからおこなってください。
(内部の電気部品の動作が安定するのに約30分かかります。)
- 表示している画面の状態によってはセルフアジャスト機能が働かない場合があります。

モニターの画面調整とは、使用するコンピュータに合わせ、画面のちらつきを抑えたり画像の表示位置やサイズを正しく調整するためのものです。

以下の条件を全て満たした場合にセルフアジャスト機能が働きます。

- モニターに初めて信号を入力した場合、または、これまでに表示したことの無い解像度や垂直周波数、水平周波数に変更した場合
- 垂直解像度が480を超える信号を入力している場合

セルフアジャスト実行後も、画面が正確に表示されていない場合は、快適に使用していただくために、以下の調整手順に従って画面の調整をしてください。

[調整手順]

1 自動調整をします。

● 画面のちらつき・表示位置・サイズを自動調整する [自動調整]

調整方法

1. 調整メニューの<スクリーン>メニューを選択し、**●**を押します。
2. <スクリーン>メニューで<アナログ調整>を選択し、**●**を押します。
3. <自動調整>を選択して、**●**を押します。

自動調整機能が働き(「実行中」とメッセージが表示されます)、画面のちらつき・表示位置・サイズが正しく調整されます。

自動調整が完了するとメッセージが表示されます。確定する場合は「OK」を、元に戻す場合は「キャンセル」を選択して **●**を押します。

注意点

- この機能は画面の表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。コマンドプロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合や、壁紙など背景を黒で使用している場合には正しく動作しません。
- 一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。

1の手順を実行しても画面が正確に表示されていない場合は以降の手順にしたがって調整をおこなってください。正確に表示された場合は、**手順5**の「色階調を自動調整する [レンジ調整]」にお進みください。

2 アナログ画面調整用のパターンを準備します。

ご使用の OS が Windows の場合

1. 「EIZO LCD ユーティリティディスク」をコンピュータにセットします。
2. ディスクの起動メニューから「画面調整ユーティリティ」を起動します。起動できない場合は、「画面調整パターン集」を開きます。

参考

- 「画面調整パターン集」の開きかたおよび内容については、Readmeja.txt ファイルを参照してください。

ご使用の OS が Windows 以外の場合

当社ホームページ (<http://www.eizo.co.jp>) から「画面調整パターン集」をダウンロードしてください。

参考

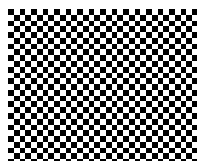
- 「画面調整パターン集」の開きかたおよび内容については、ダウンロードした Readmeja.txt ファイルを参照してください。

3 アナログ画面調整用のパターンを表示して、再度自動調整をします。

● 画面のちらつき・表示位置・サイズを自動調整する [自動調整]

調整方法

1. 「画面調整ユーティリティ」または「画面調整パターン集」を使用して、パターン1を全画面に表示します。



2. 調整メニューの<スクリーン>メニューを選択し、 を押します。
3. <スクリーン>メニューで<アナログ調整>を選択し、 を押します。
以降の調整は<スクリーン>メニューの<アナログ調整>内の項目を選択しておこないます。
4. <自動調整>を選択して、 を押します。
自動調整機能が働き、画面のちらつき・表示位置・サイズが正しく調整されます。
自動調整が完了するとメッセージが表示されます。確定する場合は「OK」を、元に戻す場合は「キャンセル」を選択して を押します。

3の手順を実行しても画面が正確に表示されていない場合は以降の手順に従って調整をおこなってください。正確に表示された場合は、**手順5**の「色階調を自動調整する [レンジ調整]」にお進みください。

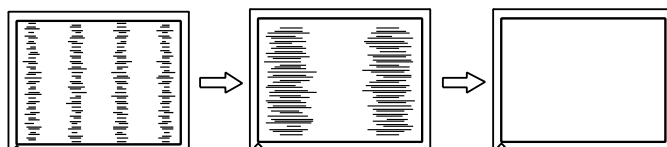
4 <スクリーン>メニューの<アナログ調整>で詳細な調整をします。

クロック→フェーズ→ポジションを順に調整します。

● 縦縞を消す [クロック]

調整方法

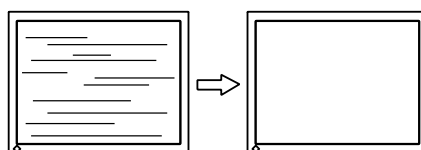
1. <アナログ調整>メニューで<クロック>を選択し、●を押します。
2. ▲または▼で縦縞が消えるように調整します。
調整が合ったポイントを見逃しやすいので▲▼をゆっくり押して調整するようにしてください。
3. 調整が完了したら●を押します。
調整後、画面全体ににじみやちらつき、横線が出た場合は次の「ちらつきやにじみをとる [フェーズ]」にすすみ調整をおこなってください。



● ちらつきやにじみをとる [フェーズ]

調整方法

1. <アナログ調整>メニューで<フェーズ>を選択し、●を押します。
2. ▲または▼で最もちらつきやにじみのない画面に調整します。
3. 調整が完了したら●を押します。



注意点

・お使いのコンピュータやグラフィックスボードによっては、完全になくなるものがあります。

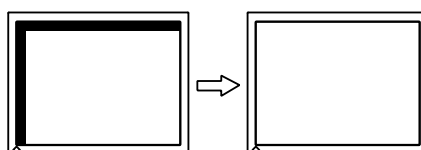
● 表示位置のずれを直す [水平ポジション] [垂直ポジション]

参考

・液晶モニターは画素数および画素位置が固定であるため、画像の正しい表示位置は1箇所です。ポジション調整とは画像を正しい位置に移動するための調整です。

設定方法

1. <アナログ調整>メニューで<水平ポジション>または<垂直ポジション>を選択し、●を押します。
2. 画像の位置が合うように▲または▼で調整します。
3. 調整が完了したら●を押します。



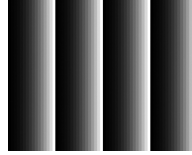
5 色階調を調整します。

● 色階調を自動調整する [レンジ調整]

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調（0～255）を表示できるように調整できます。

調整方法

1. 「画面調整ユーティリティ」または「画面調整パターン集」を使用して、パターン2を全画面に表示します。



2. <アナログ調整>メニューで<レンジ調整>を選択し、を押します。
色階調が自動的に調整されます。
自動調整が完了するとメッセージが表示されます。確定する場合は「OK」を、元に戻す場合は「キャンセル」を選択してを押します。
3. パターン2を閉じます。「画面調整ユーティリティ」を起動している場合は終了します。

2 - 4. カラー調整をする

● 表示モード（カラーモード）を選ぶ

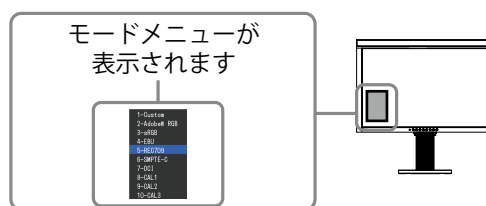
モニターの用途に応じた表示モードに簡単に切り替えることができます。

モードの種類

モード	用途
1-Custom	好みに応じた色設定をおこなう際に選択します。
2-Adobe®RGB	Adobe®RGB 対応の周辺機器と色を合わせる場合に適しています。
3-sRGB	sRGB 対応の周辺機器と色を合わせる場合に適しています。
4-EBU	EBU（欧州放送連合）規格で定められた色域・ガンマを再現するのに適しています。
5-REC709	ITU-R の REC709 規格で定められた色域・ガンマを再現するのに適しています。
6-SMPTE-C	SMPTE-C 規格で定められた色域・ガンマを再現するのに適しています。
7-DCI	DCI 規格で定められた色域・ガンマを再現するのに適しています。
8-CAL1 9-CAL2 10-CAL3	キャリブレーションソフトウェアによる調整状態で表示します。

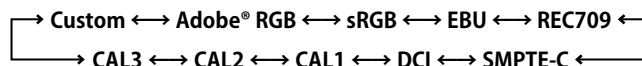
注意

- CAL モードではキャリブレーションソフトウェア「ColorNavigator」および SelfCalibration (P.32) で調整をおこなうことができます。
- 初期設定では使用できる CAL モードは表示している入力信号ごとに一つだけ選択可能になっています。
- 使用される CAL モードは、表示している入力信号に応じて、ColorNavigator によって選択されます。
- ColorNavigator をご使用の際はモニターの操作を行わないようにしてください。



設定方法

1. **M**を押します。
モードメニューが画面左下に表示されます。
2. **M**を押すたびにモードが順に切り替わり表示されます。
モードメニュー表示中は、**▲**または**▼**でモードを切り替えることもできます。



参考

- 調整メニューとモードメニューを同時に表示させることはできません。
- 特定のモードを選択できないようにすることができます。詳細は「3 - 1. モード選択の有効 / 無効を設定する [モード設定]」(P.27) を参照してください。

● 詳細な調整をする

調整メニューの<カラー>メニューで、モードごとに独立したカラー調整の設定、保存ができます。

注意点

- 調整はモニターの電源を入れて、30分以上経過してからおこなってください。
(内部の電気部品の動作が安定するのに約30分かかります。)
- アナログ信号のカラー調整をおこなうときは、最初にレンジ調整をおこなってください。(「色階調を自動調整する」P.19参照)
- モニターにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色を合わせるときは、視覚的に判断しながら微調整してください。












参考

- 「%」、「K」表示は調整の目安としてご利用ください。

● 各モードの調整項目

モードの種類により、調整できる機能が異なります。(調整/設定できない機能は選択できません)
各モードの調整/設定内容はすべての入力信号に対して適用されます。

○：調整可 —：調整不可

アイコン	機能名	カラーモード							
		1-Custom	2-Adobe ®RGB	3-sRGB	4-EBU	5-REC709	6-SMPTE-C	7-DCI	8-CAL1 9-CAL2 10-CAL3
	ブライトネス	○	○	○	○	○	○	○	—
	コントラスト	○	—	—	—	—	—	—	—
	色温度	○	○	○	○	○	○	○	—
	ガンマ	○	○	○	○	○	○	○	—
	色合い	○	—	—	—	—	—	—	—
	色の濃さ	○	—	—	—	—	—	—	—
	輪郭補正	○	○	○	○	○	○	○	—
	ゲイン	○	—	—	—	—	—	—	—
	黒レベル	○	○	○	○	○	○	○	—
	6色調整	○	—	—	—	—	—	—	—
	カラーリセット	○	○	○	○	○	○	○	—

● ブライツネス（明るさ）を調整する [ブライツネス]

バックライト（液晶パネル背面の光源）の明るさを変化させて、画面の明るさを調整します。
調整範囲：0～100%

設定方法

1. 調整メニューの<カラー>メニューを選択し、**●**を押します。
2. <カラー>メニューで<ブライツネス>を選択し、**●**を押します。
3. **▲**または**▼**で調整します。
4. 調整が完了したら **●**を押します。

参考

- **▲▼** ボタンで調整することもできます。
- ブライツネスが0%でも画面が明るいと感じた場合はコントラスト調整をおこなってください。

● コントラストを調整する [コントラスト]

ビデオ信号のレベルを変化させて、画面の明るさを調整します。
調整範囲：0～100%

設定方法

1. 調整メニューの<カラー>メニューを選択し、**●**を押します。
2. <カラー>メニューで<コントラスト>を選択し、**●**を押します。
3. **▲**または**▼**で調整します。
4. 調整が完了したら **●**を押します。

参考

- 100% で全ての色階調を表示します。
- 画面の明るさは、はじめに、階調特性を損なうことのないブライツネスで調整することをおすすめします。
- コントラスト調整は以下のような場合に使用してください。
 - ブライツネスが0%でも画面が明るいと感じた時（コントラストを100%以下に設定します）

● 色温度を調整する [色温度]

色温度を調整します。

通常「白」または「黒」の色合いを数値的に表現するときに用いられるもので、K:Kelvin（ケルビン）という単位で表します。

炎の温度と同様に、画面は色温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。また、色温度の設定値ごとにゲインのプリセット値が設定されています。

調整範囲：Native、4000K～10000K（100K単位）

設定方法

1. 調整メニューの<カラー>メニューを選択し、**●**を押します。
2. <カラー>メニューで<色温度>を選択し、**●**を押します。
3. **▲**または**▼**で調整します。
4. 調整が完了したら **●**を押します。

参考

- [ゲイン]でさらに詳細な調整が可能です（「ゲインを調整する [ゲイン]」 P.24 参照）。
- 「Native」でパネル本来の色（ゲインの値はRGB各100%）になります。
- ゲインの値を変更すると、色温度は「User」になります。
- Adobe® RGB/sRGB/EBU/REC709/SMPTE-C/DCIモードの初期設定は「Standard」で、各規格に準拠した色温度になります。

● ガンマを調整する [ガンマ]

ガンマ値を調整します。モニターは入力される信号によって明るさが変化しますが、この変化率は入力信号と単純な比例関係にありません。そのため入力信号と明るさの関係が一定の関係になるよう制御をおこなうことをガンマ補正といいます。

調整範囲：1.6～2.7

設定方法

1. 調整メニューの<カラー>メニューを選択し、**●**を押します。
2. <カラー>メニューで<ガンマ>を選択し、**●**を押します。
3. **▲**または**▼**で調整します。
4. 調整が完了したら**●**を押します。

参考

- Adobe® RGB/sRGB/EBU/REC709/SMPTE-C/DCI モードの初期設定は「Standard」で、各規格に準拠したガンマになります。
-

● 色合いを調整する [色合い]

色合いを調整します。

調整範囲：-100～100

設定方法

1. 調整メニューの<カラー>メニューを選択し、**●**を押します。
2. <カラー>メニューで<詳細設定>を選択し、**●**を押します。
3. <色合い>を選択し、**●**を押します。
4. **▲**または**▼**で調整します。
5. 調整が完了したら**●**を押します。

注意点

- 本機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。
-

● 色の濃さを調整する [色の濃さ]

色の濃さを調整します。

調整範囲：-100～100

設定方法

1. 調整メニューの<カラー>メニューを選択し、**●**を押します。
2. <カラー>メニューで<詳細設定>を選択し、**●**を押します。
3. <色の濃さ>を選択し、**●**を押します。
4. **▲**または**▼**で調整します。
5. 調整が完了したら**●**を押します。

注意点

- 本機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。
-

参考

- 最小値 (-100) で白黒の画面となります。
-

● 輪郭補正をする [輪郭補正]

画像を構成するピクセル間の色の差を強調することにより、画像の輪郭を強調するとともに質感・素材感を向上させる機能です。逆に輪郭をぼかして画像をなめらかに見せることもできます。

設定方法

1. 調整メニューの<カラー>メニューを選択し、**●**を押します。
2. <カラー>メニューで<詳細設定>を選択し、**●**を押します。
3. <輪郭補正>を選択し、**●**を押します。
4. **▲**または**▼**で、表示状態を-3~3(ソフト~シャープ)の範囲から好みに応じて選択します。
5. 調整が完了したら**●**を押します。

● ゲインを調整する [ゲイン]

色を構成する赤、緑、青のそれぞれの明るさをゲインと呼びます。これを調整することで、「白」(各色の入力信号が最大するとき)の色調を変更することができます。

調整範囲：0~100%

設定方法

1. 調整メニューの<カラー>メニューを選択し、**●**を押します。
2. <カラー>メニューで<詳細設定>を選択し、**●**を押します。
3. <ゲイン>を選択し、**●**を押します。
4. <Red>、<Green>、<Blue>の中から調整する色を選択し、**●**を押します。
5. **▲**または**▼**で調整します。
6. 調整が完了したら**●**を押します。

参考

- ・この設定は<色温度>の設定をすると無効になります。
 - ・色温度の値に応じてゲインの値が変わります。
 - ・ゲインの値を変更すると、色温度は「User」になります。
-

● 黒レベルを調整する [黒レベル]

赤、緑、青のそれぞれの黒レベルを調整することにより、黒の明るさ、色度を調整します。背景が黒の画像を表示して調整してください。

調整範囲：0~100%

設定方法

1. 調整メニューの<カラー>メニューを選択し、**●**を押します。
2. <カラー>メニューで<詳細設定>を選択し、**●**を押します。
3. <黒レベル>を選択し、**●**を押します。
4. <Red>、<Green>、<Blue>の中から調整する色を選択し、**●**を押します。
5. **▲**または**▼**で調整します。
6. 調整が完了したら**●**を押します。

参考

- ・黒レベル値が0の場合、さらに黒を暗くするためにはブライトネスの値を下げてください。
 - ・コントラストの値を下げても黒レベルの明るさは変わりません。
-

● 6色調整をする [6色調整]

Magenta、Red、Yellow、Green、Cyan、Blueの色合いおよび色の濃さを個別に調整します。
調整範囲：-100～100

設定方法

1. 調整メニューの<カラー>メニューを選択し、**●**を押します。
2. <カラー>メニューで<詳細設定>を選択し、**●**を押します。
3. <6色調整>を選択し、**●**を押します。
4. <Magenta>、<Red>、<Yellow>、<Green>、<Cyan>、<Blue>の中から調整する色を選択し、**●**を押します。
5. <色合い>または<色の濃さ>を選択し、**●**を押します。
6. **▲**または**▼**で調整します。
7. 調整が完了したら**●**を押します。

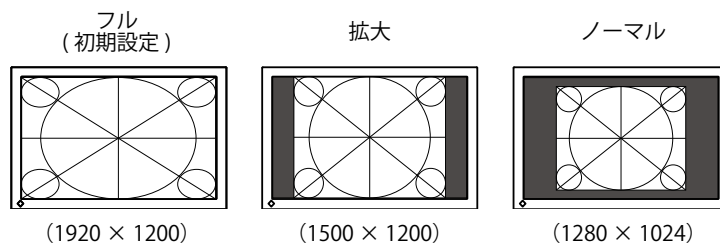
2 - 5. 推奨解像度以外でご利用の場合

● 表示サイズを切り替える [画面サイズ]

推奨解像度以外の解像度は、自動で画面いっぱいに拡大されますが、
<スクリーン>メニューの<画面サイズ>機能を使用して表示サイズを切替えることができます。

メニュー	機能
フル (初期設定)	画面いっぱいに画像を表示します。ただし、拡大比率は縦・横一定ではないため、表示画像に歪みが見られる場合があります。
拡大	画面いっぱいに画像を表示します。ただし、拡大比率を縦・横一定にするため、水平・垂直のどちらかの方向に画像が表示されない部分が残る場合があります。
ノーマル	設定した解像度のままの大きさとで画像が表示されます。

例：1280 × 1024 を表示した場合



設定方法

1. 調整メニューの<スクリーン>メニューを選択し、を押します。
2. <スクリーン>メニューで<画面サイズ>を選択し、を押します。
3. または で「フル」/「拡大」/「ノーマル」のいずれかを選択します。
4. 設定が完了したら を押します。

2 - 6. 動画性能を設定する [オーバードライブ]

<オーバードライブ>の設定をすると、動きの早い画像を表示すると見えることがある残像を抑えることができます。初期設定は「オン」になっていますが、「オン」にすることでノイズや残像がかえって目立つ場合があります。そのような場合、<オーバードライブ>の設定を「オフ」にしてください。

設定方法

1. 調整メニューの<ツール>メニューを選択し、を押します。
2. <ツール>メニューで<オーバードライブ>を選択し、を押します。
3. または で「オン」または「オフ」を選択します。
4. 設定が完了したら を押します。

第3章 モニターの設定をする

3 - 1. モード選択の有効 / 無効を設定する [モード設定]

モードを選択するときに、設定したモードだけを選択することができます。
表示するモードが限定されている場合や、表示状態をむやみに変更したくない場合にご利用ください。

設定方法

1. 調整メニューの<ツール>メニューを選択し、**●**を押します。
2. <ツール>メニューで<モード設定>を選択し、**●**を押します。
3. **▲**または**▼**で設定を変更するモードを選択し、**●**を押します。
4. **▲**または**▼**で「オン」または「オフ」を選択します。
5. 設定が完了したら**●**を押します。

注意点

• すべてのモードを無効にすることはできません。1つ以上のモードを「オン」に設定してください。

3 - 2. 操作ボタンをロックする [操作ロック]

調整 / 設定した状態を変更できないようにします。

設定方法

1. **Ⓞ**を押して、モニターの電源を切ります。
2. **Ⓜ**を押しながら**Ⓞ**を2秒以上押してモニターの電源を入れます。
オプション設定メニューが表示されます。
3. <オプション設定>メニューより<操作ロック>を選択し、**●**を押します。
4. **▲**または**▼**で「オフ」/「メニュー」/「オール」のいずれかを選択し、**●**を押します。

設定項目	ロックできるボタン
オフ (初期設定)	なし (全てのボタンが有効)
メニュー	● ボタン
オール	Ⓞ ボタンを除くすべてのボタン

5. **▲**または**▼**で「完了」を選択します。
6. **●**を押します。
オプション設定メニューが閉じます。

3 - 3. EIZO ロゴ表示を設定する [起動ロゴ]

本機の電源を入れた時に、EIZO ロゴが表示されます。このロゴの表示 / 非表示の切り替えができます。

設定方法

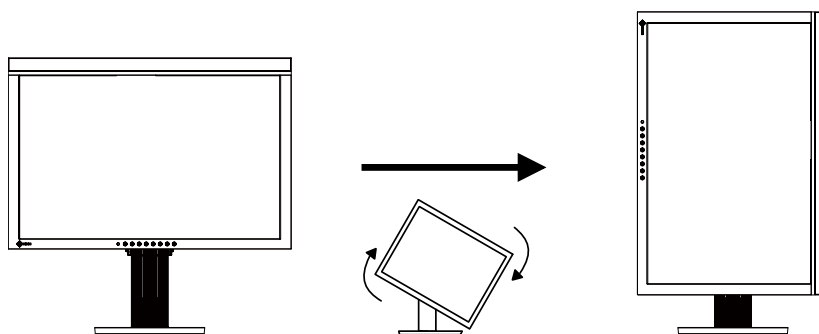
1. **Ⓞ** を押して、モニターの電源を切ります。
2. **Ⓜ** を押しながら **Ⓞ** を 2 秒以上押してモニターの電源を入れます。
オプション設定メニューが表示されます。
3. <オプション設定>メニューより<起動ロゴ>を選択し、**Ⓞ** を押します。
4. **⬆** または **⬆** で「オン」または「オフ」を選択し、**Ⓞ** を押します。
5. **⬆** または **⬆** で「完了」を選択します。
6. **Ⓞ** を押します。
オプション設定メニューが閉じます。

3 - 4. 設置方向を設定する [設置方向]

モニターを縦型表示にした場合は、調整メニューの向きも変更することができます。
(初期設定：横置き)

設定方法

1. 調整メニューの<メニュー設定>メニューを選択し、**Ⓞ** を押します。
2. <メニュー設定>メニューで<設置方向>を選択し、**Ⓞ** を押します。
3. **⬆** または **⬆** で「横置き」または「縦置き」を選択します。
4. 設定が完了したら**Ⓞ** を押します。
5. 「縦置き」を選択した場合は、モニタースクリーンを時計回りに 90° 回転します。



注意点

- ・ ケーブル類が正しく差し込まれているかご確認ください。

参考

- ・ モニターを縦型表示するためには、縦型表示対応のグラフィックスボードが必要です。モニターを縦型表示にした場合、ご使用のグラフィックスボードの設定を変更する必要があります。詳細は、グラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。当社ホームページもあわせて参照してください。<http://www.eizo.co.jp>

3 - 5. 表示言語を設定する [言語選択]

調整メニューやメッセージの表示言語が選択できます。

選択できる言語

英語 / ドイツ語 / フランス語 / スペイン語 / イタリア語 / スウェーデン語 / 日本語 / 中国語 (簡体) / 中国語 (繁体)

設定方法

1. 調整メニューの<メニュー設定>メニューを選択し、**●**を押します。
2. <メニュー設定>メニューで<言語選択>を選択し、**●**を押します。
3. **▲**または**▼**で言語を選択します。
4. 設定が完了したら**●**を押します。

3 - 6. 対応周波数範囲を設定する [入力信号帯域]

ご使用の環境によっては、グラフィックスボードに応じた周波数の信号帯域を設定する必要があります。初めて設置をおこなう場合や使用環境を変更する場合におこなってください。

注意点

- ・グラフィックスボードの取扱説明書をよくお読みください。
- ・下記の使用環境は、コンピュータの起動に関係なく設定することができます。
- ・デジタル信号入力でのみ設定可能です。

設定方法

1. **Ⓞ**を押して、モニターの電源を切ります。
2. **Ⓜ**を押しながら**Ⓞ**を2秒以上押してモニターの電源を入れます。
オプション設定メニューが表示されます。
3. <オプション設定>メニューより<入力信号帯域>を選択して**●**を押します。
4. **▲**または**▼**で入力信号を選択し、**●**を押します。
グラフィックスボードの種類に応じた周波数の信号帯域の設定を、**▲**または**▼**で選択または確認します。

設定	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
Normal	26 ~ 78	59 ~ 61
Wide-1	26 ~ 78	23.75 ~ 63
Wide-2/3 [*]	特殊な信号を入力する際に使用します。	

^{*}: Wide-2/3はDisplayPortでは選択できません。

5. **□**を押します。
6. **▲**または**▼**で「完了」を選択します。
7. **●**を押します。
オプション設定メニューが閉じます。

3-7. 調整メニューの表示位置を設定する [メニューポジション]

調整メニューの表示位置を移動できます。

設定方法

1. 調整メニューの<メニュー設定>メニューを選択し、●を押します。
2. <メニュー設定>メニューで<メニューポジション>を選択し、●を押します。
3. ▲または▼で位置を選択します。
4. 設定が完了したら●を押します。

3 - 8. フロントボタンの明るさを設定する [ランプ輝度]

画面表示時の電源ボタン（青）および操作ボタン（白）の輝度を設定することができます（初期設定では、電源ボタンおよび操作ボタンは電源を入れたときに点灯し、4に設定されています）。

設定方法

1. 調整メニューの<PowerManager>メニューを選択し、●を押します。
2. <PowerManager>メニューで<ランプ輝度>を選択し、●を押します。
3. ▲または▼でボタンの明るさを「オフ」または1～7の範囲から好みに応じて選択します。
4. 設定が完了したら●を押します。

3 - 9. お買い上げ時の設定に戻す

リセットには、カラー調整のみを工場出荷状態に戻すカラーリセットと、すべての設定内容を工場出荷状態に戻すオールリセットの2種類があります。

注意点

- リセット実行後は、リセット前の状態に戻すことはできません。

参考

- 初期値については、「主な初期設定（工場出荷設定）値」をご覧ください。

● カラー調整値をリセットする [カラーリセット]

現在選択しているモードのカラー調整値のみを初期状態（工場出荷状態）に戻します。

設定方法

- 調整メニューの<カラー>メニューを選択し、**●**を押します。
- <カラー>メニューで<カラーリセット>を選択し、**●**を押します。
- ▲**または**▼**で「実行」を選択します。
- を押します。

カラー調整値が初期状態になります。

● すべての設定内容をリセットする [オールリセット]

すべての設定内容を初期状態（工場出荷状態）に戻します。

設定方法

- 調整メニューの<ツール>メニューを選択し、**●**を押します。
- <ツール>メニューで<オールリセット>を選択し、**●**を押します。
- ▲**または**▼**で「実行」を選択します。
- を押します。

すべての設定内容が初期状態になります。

参考

- SelfCalibrationメニューの時計設定およびオプション設定メニューの設定は初期状態に戻りません。

第4章 SelfCalibration について

本機は、キャリブレーションセンサーを内蔵しています。調整目標やスケジュールを事前に設定することで、定期的なキャリブレーションを自動で実行することができます。キャリブレーションは、モニター単独で実行することができます。

注意点

- SelfCalibration を実行するためには調整目標などの設定が必要です。詳細は「4-3. 調整内容を設定する [設定]」(P.33) を参照してください。

参考

- SelfCalibration は ColorNavigator を使ったモニターキャリブレーションの補助としてお使いください。
- 内蔵センサーの測定結果をご使用の測定器の測定結果に合わせる場合は、ColorNavigator に付属の Correlation Utility をご使用ください。詳細は、CD-ROM 内の ColorNavigator の取扱説明書を参照してください。
- SelfCalibration はコンピュータの信号が入力されていない状態でもおこなうことができます。

4 - 1. SelfCalibration を実行する [調整実行]

調整方法

- Ⓒ を押します。
SelfCalibration メニューが表示されます。
- SelfCalibration メニューの<調整実行>メニューを選択し、Ⓓ を押します。
- Ⓐ または ▼ で「実行」を選択します。
- Ⓔ を押します。
内蔵センサーが現れ、SelfCalibration が実行されます。

注意点

- SelfCalibration を実行するためには、CAL モードを選択する必要があります。
- 実行を選択後、内蔵センサーが出る前にエージングが実行される場合があります。

4 - 2. 調整結果を確認する [結果閲覧]

前回のキャリブレーションの結果を確認することができます。

確認方法

- SelfCalibration メニューの<結果閲覧>メニューを選択し、Ⓓ を押します。
- Ⓐ または ▼ で結果を確認したいモードを選択します。
結果閲覧メニューが表示されます。
前回 SelfCalibration を実行した日時と、前回の調整からのモニター使用時間が表示されます。
- Ⓐ または ▼ で「調整結果」または「環境光」を選択します。
前回の調整結果が表示されます。

注意点

- 環境光センサーの測定結果は、キャリブレーション実行時と現在の環境光の差を確認するためのものであり、キャリブレーション結果へ反映されるものではありません。

参考

- 「環境光」を選択した場合は現在の環境光も表示されます。
- 目標値に到達しなかった数値は黄色で表示されます。
- 使用環境が前回と大きく異なる場合、環境光の測定結果は前回調整時と現在では大きく異なる場合があります。

4 - 3. 調整内容を設定する [設定]

● SelfCalibration を実行するモードを設定する [モード選択]

SelfCalibration を実行するモードを設定します。

設定方法

1. SelfCalibration メニューの<設定>メニューを選択し、**●**を押します。
2. <設定>メニューで<モード選択>を選択し、**●**を押します。
3. **▲** または **▼** で設定を変更するモードを選択し、**●**を押します。
4. **▲** または **▼** で「オン」または「オフ」を選択します。
5. 設定が完了したら **●**を押します。

参考

- ・「CAL1/CAL2/CAL3」を「オン」にすると SelfCalibration が実行できます。
- ・「その他のモード」を「オン」にした場合、モニターの色再現域が更新され、各カラーモードの表示を次の通りに調整します。
 - CAL モード以外の色温度を規格値に近くなるように補正します。
 - Adobe RGB/sRGB/EBU/REC709/SMPTE-C/DCI モードでは色域をそれぞれの規格値に近くなるように補正します。

● 調整目標を設定する [目標]

SelfCalibration の調整目標を設定します。

設定方法

1. SelfCalibration メニューの<設定>メニューを選択し、**●**を押します。
2. <設定>メニューで<目標>を選択し、**●**を押します。
3. **▲** または **▼** で設定を変更するモードを選択し、**●**を押します。
目標設定メニューが表示されます。
4. **▲** または **▼** で設定を変更する項目を選択し、**●**を押します。

設定項目	設定範囲	設定内容
輝度	30 ~ 250cd/m ²	モニターの明るさを輝度値 (cd/m ²) で設定します。
白色点	色座標 : 0.2400 ~ 0.4500 ^{※1} 色温度 : 4000 ~ 10000K (100K 単位) ^{※2}	モニターの白色点を色座標あるいは色温度で設定します。
色域	Native/User	色域調整をおこなうか設定します。 Native : 色域調整をおこないません。 User : 色域調整をおこないます。
	0.0000 ~ 1.0000 (赤 / 緑 / 青 各色)	モニターの色再現域を調整する場合に、赤・緑・青の色座標を設定します。
ガンマ	1.6 ~ 2.7 (0.1 単位) ^{※3}	モニターのガンマ値を設定します。

^{※1} 色座標を設定すると、色温度は「User」になります。

^{※2} 色温度を設定すると、白色点の x,y 座標が自動で設定されます。

^{※3} ColorNavigator で調整されている場合は「Fixed」になります。

5. **▲** または **▼** で調整します。
6. 調整が完了したら **●**を押します。
調整目標が設定されます。

注意点

- ・色域調整は目標の色域が明確な場合のみ設定してください。
- ・ColorNavigator でグレイバランス調整をおこなった場合は、ガンマの設定値を変更しないでください。

参考

- ・ColorNavigator で設定した調整目標がモニターの調整目標として設定されます。

● モニターの日時を設定する [時計合わせ]

モニターの日時を設定します。

参考

- ColorNavigator を起動すると、日時が自動で設定されます。詳細は、CD-ROM 内の ColorNavigator の取扱説明書を参照してください。
-

設定方法

1. SelfCalibration メニューの<設定>メニューを選択し、●を押します。
 2. <設定>メニューで<時計合わせ>を選択し、●を押します。
時計合わせメニューが表示されます。
 3. ▲または▼で日付を選択し、●を押します。
 4. ▲または▼で時刻を選択し、●を押します。
モニターの日時が設定されます。
-

注意点

- 長時間主電源を切ったままにしておくと、時計の再設定が必要になる場合があります。
-

● 調整スケジュールを設定する [スケジュール]

SelfCalibration の調整スケジュールを設定します。

注意点

- SelfCalibration を動作させるためには時計合わせが必要です。

設定方法

1. SelfCalibration メニューの<設定>メニューを選択し、**⓪** を押します。
2. <設定>メニューで<スケジュール>を選択し、**⓪** を押します。
スケジュール設定メニューが表示されます。
3. **Ⓐ** または **Ⓣ** で設定を変更する項目を選択し、**⓪** を押します。

設定項目	設定範囲	設定内容
開始タイミング	オフ パワーセーブ 即時	SelfCalibration を実行するタイミングを設定します。 オフ : SelfCalibration を実行しません。 パワーセーブ : スケジュールで設定した期間が経過後、最初にパワーセーブに移行するとき、または最初に電源が切れるときに実行します。 即時 : スケジュールで設定した期間が経過後、即時に実行します。
設定方法*	タイプ 1 タイプ 2 タイプ 3	SelfCalibration を実行する頻度に応じて設定します。 タイプ 1 : 数ヶ月に 1 回 タイプ 2 : 数週間に 1 回 タイプ 3 : 数時間 (モニターの使用時間) に 1 回
間隔	タイプ 1 : 1 ~ 12 ヶ月 タイプ 2 : 1 ~ 5 週間 タイプ 3 : 50 ~ 500 時間	SelfCalibration が完了してから次の実行までの間隔を設定します。<設定方法>で指定したタイプによって設定内容は異なります。
週	第 1 週目 ~ 第 5 週目	調整が実行される月の第何週目に SelfCalibration を実行するかを設定します。
曜日	MON/TUE/WED/THU/ FRI/SAT/SUN	調整が実行される週の何曜日に SelfCalibration を実行するかを設定します。
時間	00:00 ~ 23:30	SelfCalibration を実行する時刻を設定します。

* よく使う設定をプリセットしておくことができます。

4. **Ⓐ** または **Ⓣ** で調整します。
5. 調整が完了したら **⓪** を押します。
調整スケジュールが設定されます。

参考

- ColorNavigator でスケジュールを設定することもできます。詳細は、CD-ROM 内の ColorNavigator の取扱説明書を参照してください。
- 開始タイミングが「即時」で、設定方法が「タイプ 1」あるいは「タイプ 2」の場合、**⓪** で電源を切った状態でもスケジュール通り SelfCalibration が実行されます。
- 開始タイミングで「オフ」を選択した場合、SelfCalibration メニューに「設定が完了していません」と表示されますが、手動での SelfCalibration は実行可能です。

第5章 省電力機能について

5 - 1. パワーセーブの設定をする [パワーセーブ]

コンピュータの状態と連動してモニターを省電力モードにする / しないの切り替えができます。省電力モードに移行すると画面を非表示にします。

注意点

- ・ 主電源を切るか、電源プラグを抜くことで、確実にモニター本体への電源供給は停止します。
- ・ モニターが省電力モードの場合、またモニターのⓄで電源を切った場合、USB アップストリームポートおよび USB ダウンストリームポートに接続されている機器が動作します。そのためモニターの消費電力は、省電力モードであっても接続される機器によって変化します。

各信号入力に対し、以下の規格に準拠しています。

信号入力		規格
アナログ信号		VESA DPMS
デジタル信号	DVI	DVI DMPM
	DisplayPort	DisplayPort Standard V1.1a

設定方法

1. 調整メニューの < PowerManager > メニューを選択し、●を押します。
2. < PowerManager > メニューで < パワーセーブ > を選択し、●を押します。
3. ▲または▼で「オン」または「オフ」を選択します。
4. 設定が完了したら●を押します。

省電力の流れ






コンピュータの設定に連動し省電力モードに入ります。


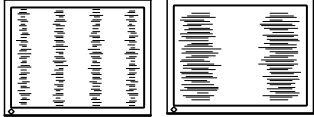


コンピュータの状態		モニターの状態	電源ランプ
オン		オペレーションモード	青
省電力モード	スタンバイ サスペンド オフ	省電力モード	橙

第6章 こんなときは

症状に対する処置をおこなっても解消されない場合は、販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。

- 画面が表示されない場合 → 項目 1、2 を参照してください。
- 画面に関する症状（デジタル信号の場合） → 項目 3～8 を参照してください。
- 画面に関する症状（アナログ信号の場合） → 項目 3～12 を参照してください。
- その他の症状 → 項目 13～16 を参照してください。

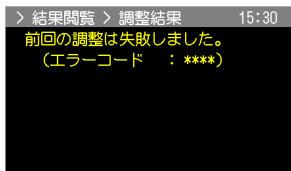
症 状	原因と対処方法
1. 画面が表示されない <ul style="list-style-type: none"> • 電源ランプが点灯しない 	<ul style="list-style-type: none"> • 電源コードは正しく差し込まれていますか。 • 主電源を切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。 • 主電源を入れてください。 •  を押してください。
<ul style="list-style-type: none"> • 電源ランプが点灯：青色 	<ul style="list-style-type: none"> • <ブライトネス>、<コントラスト>、<ゲイン>の各調整値を上げてみてください (P.22、P.24 参照)。
<ul style="list-style-type: none"> • 電源ランプが点灯：橙色 	<ul style="list-style-type: none"> •  で入力信号を切り替えてみてください。 • マウス、キーボードを操作してみてください。 • コンピュータの電源は入っていますか。
2. 以下のようなメッセージが表示される	<p>この表示はモニターが正常に機能していても、信号が正しく入力されないときに表示されます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> • 信号が入力されていない場合の表示です。 例： 	<ul style="list-style-type: none"> • コンピュータによっては電源を入れたときに信号がすぐに出力されないため、左のような画面が表示されることがあります。 • コンピュータの電源は入っていますか。 • 信号ケーブルは正しく接続されていますか。 •  で入力信号を切り替えてみてください。
<ul style="list-style-type: none"> • 入力されている信号が周波数仕様範囲外であることを示す表示です（範囲外の周波数は赤色で表示されます）。 例： 	<ul style="list-style-type: none"> • コンピュータの設定が、本機で表示できる解像度、垂直周波数になっていますか。(P.14 参照) • コンピュータを再起動してみてください。 • グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な表示モードに変更してください。詳しくはグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。 <p>fD：ドットクロック (デジタル信号入力時のみ表示されます)</p> <p>fH：水平周波数 fV：垂直周波数</p>
3. 画面が明るすぎる / 暗すぎる	<ul style="list-style-type: none"> • <ブライトネス>、<コントラスト>を調整してください (LCD モニターのバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、エイゾーサポートにご相談ください)。
4. 文字がぼやけて見える	<ul style="list-style-type: none"> • コンピュータの設定が、本機で表示できる解像度、垂直周波数になっていますか。(P.14 参照) • <輪郭補正>で調整してみてください (P.24 参照)。

症 状	原因と対処方法
5. 残像が現れる	<ul style="list-style-type: none"> この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することを極力避けることをおすすめします。 長時間同じ画像を表示する場合は、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。
6. 画面に緑、赤、青、白のドットが残るまたは点灯しないドットが残る	<ul style="list-style-type: none"> これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。
7. 画面上に干渉縞が見られる / パネルを押したあとが消えない	<ul style="list-style-type: none"> 画面全体に白い画像または黒い画像を表示してみてください。症状が解消されることがあります。
8. 画面にノイズがあらわれる	<ul style="list-style-type: none"> HDCP 方式の信号を入力した場合、正常な画面がすぐに表示されないことがあります。
9. 画像がずれている 	<ul style="list-style-type: none"> <水平ポジション>または<垂直ポジション>で画像の位置を合わせてください (P.18 参照)。 グラフィックスボードのユーティリティなどに画像の位置を変える機能があれば、その機能を使用して調整してください。
10. 画面に縦線が出ている / 画面の一部がちらついている 	<ul style="list-style-type: none"> <クロック>で調整してみてください (P.18 参照)。
11. 画面全体がちらつく、にじむように見える 	<ul style="list-style-type: none"> <フェーズ>で調整してみてください (P.18 参照)。
12. 画面の上部が下図のように歪む 	<ul style="list-style-type: none"> コンポジットシンク (X-OR) の信号とセパレートシンクの垂直同期信号が同時に入力されている場合に起こります。入力する信号をコンポジットかセパレートのどちらか一方にしてください。
13. 調整メニューが表示できない	<ul style="list-style-type: none"> 操作ボタンのロックが機能していないか確認してみてください (P.27 参照)。
14. モードメニューが表示できない	<ul style="list-style-type: none"> 操作ボタンのロックが機能していないか確認してみてください (P.27 参照)。
15. 自動調整機能が動作しない	<ul style="list-style-type: none"> 自動調整機能はデジタル信号入力時には動作しません。 この機能は画面の表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。コマンドプロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合や、壁紙など背景を黒で使用している場合には正しく動作しません。 一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。

症 状	原因と対処方法
16. USB ケーブルで接続したモニターが認識されない / モニターに接続している USB 周辺機器が動作しない	<ul style="list-style-type: none"> • USB ケーブルは正しく差し込まれていますか。(P.44 参照) • 別の USB ポートに差し替えてみてください。別のポートで正しく動作した場合は、エイゾーサポートにご相談ください (詳しくはコンピュータの取扱説明書を参照してください)。 • コンピュータを再起動してみてください。 • 直接コンピュータと周辺機器を接続してみて、周辺機器が正しく動作した場合は、お買い求めの販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。 • ご使用のコンピュータおよび OS が USB に対応しているかご確認ください (各機器の USB 対応については各メーカーにお問い合わせください)。 • Windows をご使用の場合、コンピュータに搭載されている BIOS の USB に関する設定をご確認ください (詳しくはコンピュータの取扱説明書を参照してください)。

内蔵センサーおよび SelfCalibration に関するエラー

症 状	原因と対処方法
1. 主電源を入れると内蔵センサーが自動で出てくる	<ul style="list-style-type: none"> • 内蔵センサーの動作チェックのために主電源を入れると自動で出てきますので、故障ではありません。
2. 内蔵センサーが出てこない / 出たままになる	<ul style="list-style-type: none"> • 主電源を切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。 • 症状に対する処置をおこなっても解消されない場合は、販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。
3. SelfCalibration ができない	<ul style="list-style-type: none"> • 日時が正しく設定されていますか。 • モード設定がされていますか。 • 調整目標が正しく設定されていますか。
4. SelfCalibration に失敗する 例：	<ul style="list-style-type: none"> • 何かの原因でキャリブレーションに失敗しています。 • SelfCalibration エラーコード表を参照してください。SelfCalibration エラーコード表にないコードが表示された場合は、販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。



SelfCalibration エラーコード表

エラーコード	原因と対処方法
100 番台	<ul style="list-style-type: none">• CAL1 の SelfCalibration 時に発生したエラーを示します。
200 番台	<ul style="list-style-type: none">• CAL2 の SelfCalibration 時に発生したエラーを示します。
300 番台	<ul style="list-style-type: none">• CAL3 の SelfCalibration 時に発生したエラーを示します。
900 番台	<ul style="list-style-type: none">• その他のモードの SelfCalibration 時に発生したエラーを表示します。
0*10	<ul style="list-style-type: none">• 製品の最大輝度が目標輝度よりも低くなっている可能性があります。• 目標輝度を下げてください。
0*34	<ul style="list-style-type: none">• 調整中に内蔵センサーが出なかつたり、測定中にセンサーに光が入った可能性があります。• 主電源を切り、数分後にもう一度電源を入れてから SelfCalibration をやり直してください。
0*50	<ul style="list-style-type: none">• 内蔵センサーの初期化中にセンサーに光が入った可能性があります。• SelfCalibration をやり直してください。
0*90	<ul style="list-style-type: none">• SelfCalibration ができないモードが表示されています。• 目標が設定されている CAL モードを表示してから SelfCalibration を実行してください。
0*91	<ul style="list-style-type: none">• SelfCalibration がキャンセルされました。• 再度 SelfCalibration を実行してください。

第7章 ご参考に

7-1. アームを取り付ける

本機はスタンド部分を取り外すことによって、アーム（または他のスタンド）に取り付けることが可能になります。アームまたはスタンドは当社オプション品をご利用ください。

注意点

- ・取り付けの際は、アームまたはスタンドの取扱説明書の指示に従ってください。
- ・他社製のアームまたはスタンドを使用する場合は、以下の点をアームまたはスタンドメーカーにご確認の上、VESA 規格準拠のものをお選びください。
 - 取付部のネジ穴間隔：100mm × 100mm
 - プレート部の厚み：2.6mm
 - 許容質量：モニター本体の質量（スタンドなし）とケーブルなどの装着物の総質量に耐えられること取り付けには下記のネジをご使用ください。
 - 本体部分とスタンドを固定しているネジ
- ・アームまたはスタンドを使用する場合は、以下の範囲（チルト角）で使用してください。
 - 上 45° 下 45°（横表示時、および時計回り 90° に縦表示時）
- ・ケーブル類は、アームまたはスタンドを取り付けた後に接続してください。
- ・取り外したスタンドを昇降させないでください。モニター本体を取り付けていない状態でスタンドを昇降させると、けがや故障の原因となります。
- ・モニターおよびアームまたはスタンドは重量があります。落としたりするとけがや故障の原因となります。

[取付方法]

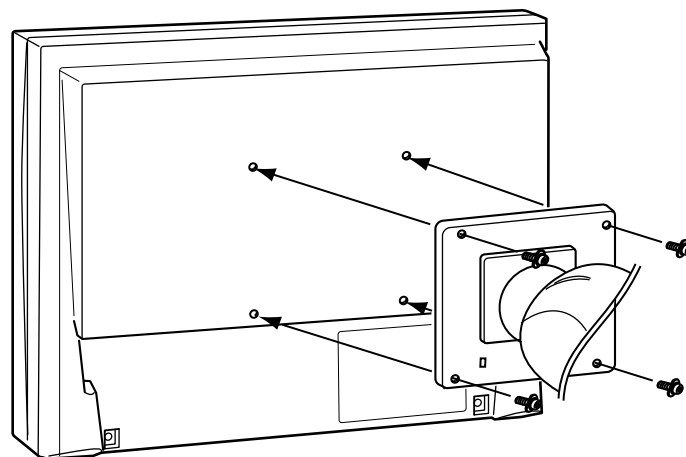
1 液晶パネル面が傷つかないように、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。

2 スタンド部分を取り外します。

別途ドライバを準備ください。ドライバを使って、本体部分とスタンドを固定しているネジ 4 箇所を取り外します。

3 モニターをアーム（またはスタンド）に取り付けます。

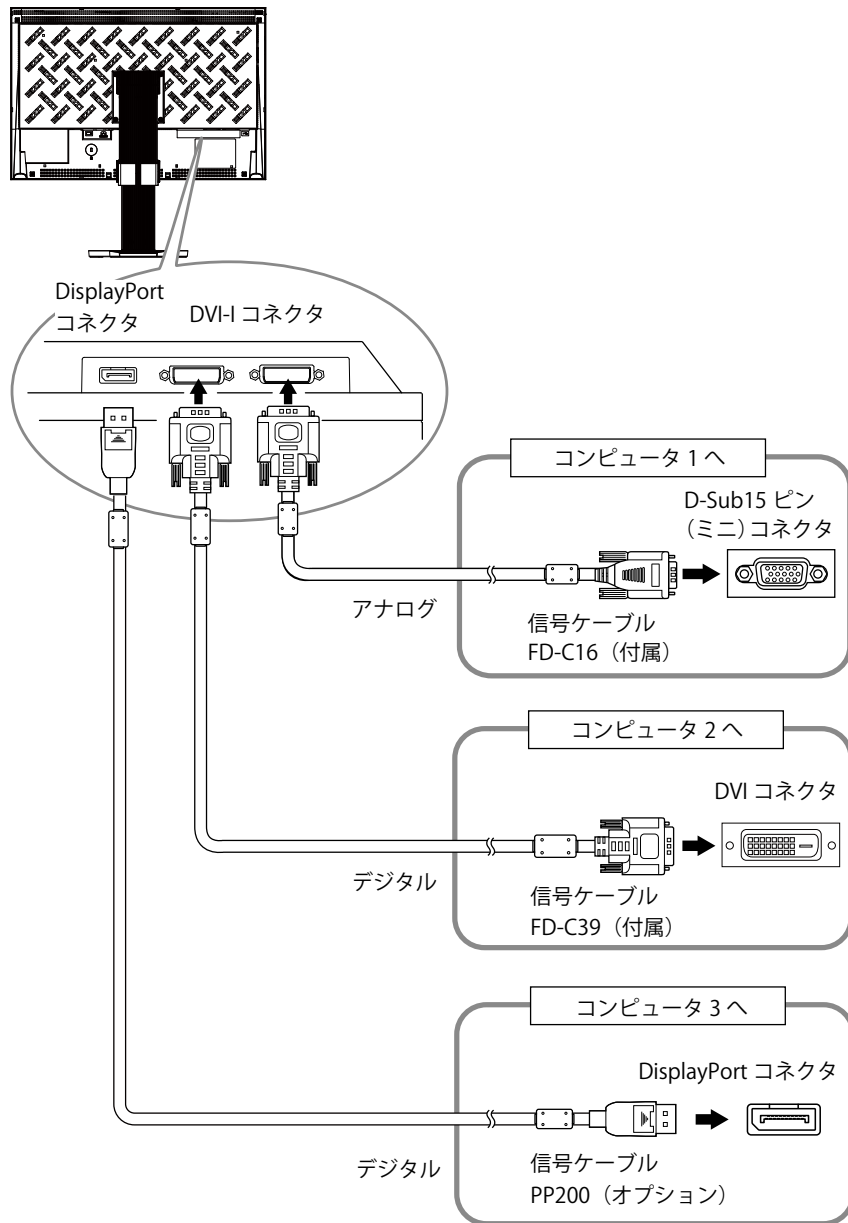
本体部分とスタンドを固定しているネジを使って取り付けます。



7 - 2.2 台以上のコンピュータを接続する

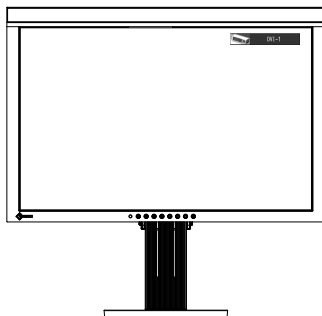
本機は、背面の DVI-I、DisplayPort コネクタに 2 台以上のコンピュータを接続し、切り替えて表示することができます。

接続例



● 入力信号を切り替える

- ⑤ を押すたびに入力信号が切り替わります。
画面右上に選択された入力ポート名が表示されます。



● 入力信号の切替方法を設定する [入力切替]

設定	機能
オート	コンピュータ信号が入力されているコネクタを自動判別して画面を表示します。コンピュータの電源が切れたり、省電力モードに入ると自動的に、他の信号を表示します。
マニュアル	表示中のコンピュータの信号のみを検知します。操作ボタンの ⑤ で表示させたい入力信号を選択してください。

設定方法

1. 調整メニューの<ツール>メニューを選択し、● を押します。
2. <ツール>メニューで<入力切替>を選択し、● を押します。
<入力切替>メニューが表示されます。
3. ▲ または ▼ で「オート」または「マニュアル」を選択します。
4. 設定が完了したら ● を押します。

注意

- ・「オート」が選択されている場合は、すべてのコンピュータが省電力モードに入っている場合のみモニター
の省電力機能が動作します。

7 - 3. USB(Universal Serial Bus) の活用について

本機は USB 規格に対応しているハブを搭載しています。USB 対応のコンピュータまたは他の USB ハブに接続することにより、本機が USB ハブとして機能し、USB に対応している周辺機器と接続できます。

● 必要なシステム環境

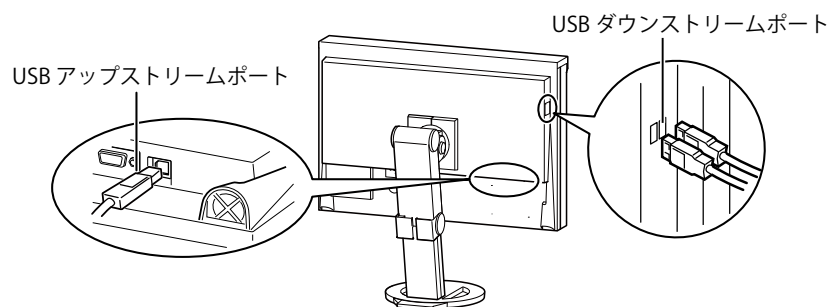
1. USB ポートを搭載したコンピュータ、あるいは USB 対応のコンピュータに接続している他の USB ハブ
2. Windows 2000/XP/Vista/7 または Mac OS 9.2.2 および Mac OS X 10.2 以降
3. EIZO USB ケーブル (MD-C93)

注意

- 使用するコンピュータ、OS および周辺機器によっては動作しない場合があります。各機器の USB 対応については各メーカーにお問い合わせください。
- モニターが省電力モードの場合、またはモニターの電源ボタンがオフの場合、USB アップストリームポートおよび USB ダウンストリームポートに接続されている機器が動作します。そのためモニターの消費電力は、省電力モードであっても接続される機器によって変化します。
- 主電源スイッチオフ時、USB ポートに接続されている機器は動作しません。

● 接続方法 (USB 機能のセットアップ方法)

1. はじめにコンピュータとモニターを信号ケーブルで接続し、コンピュータを起動しておきます。
2. USB 対応のコンピュータ(あるいは他の USB ハブ)の USB ダウンストリームポートとモニターの USB アップストリームポートを USB ケーブルで接続します。
USB ケーブルの接続により自動的に USB のハブ機能がセットアップされます。
3. USB 対応の周辺機器をモニターの USB ダウンストリームポートに接続します。



7 - 4. モニター情報を表示する

● 信号情報を表示する [信号情報]

現在表示している入力信号の情報を表示します。

設定方法

1. 調整メニューの<ツール>メニューを選択し、**●**を押します。
2. <ツール>メニューで<入力信号情報>を選択し、**●**を押します。
信号情報画面が表示されます。

(例)



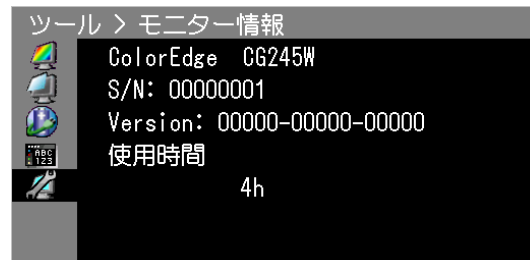
● モニター情報を表示する [モニター情報]

本機に関する情報を表示します。

設定方法

1. 調整メニューの<ツール>メニューを選択し、**●**を押します。
2. <ツール>メニューで<モニター情報>を選択し、**●**を押します。
モニター情報画面が表示されます。

(例)



注意点

- ・工場検査などのため、購入時に使用時間が「0」ではない場合があります。

7 - 5.仕様

液晶パネル	サイズ	61cm (24.1) 型 カラー TFT		
	表面処理	ハードコーティング		
	表面硬度	3H		
	視野角	視野角：左右 178°、上下 178° (CR ≥ 10)		
	ドットピッチ	0.270mm		
	応答速度	約 13ms		
水平走査周波数	アナログ	24 ~ 76kHz		
	デジタル	26 ~ 78kHz		
垂直走査周波数	アナログ	47.5 ~ 86Hz (ノンインターレース) (1600 × 1200, 1920 × 1200 時：47.5 ~ 61Hz)		
	デジタル	23.75 ~ 63Hz (ノンインターレース) (VGA TEXT 時：69 ~ 71Hz)		
	フレーム同期モード	アナログ	47.5 ~ 61Hz	
		デジタル	23.75 ~ 30.5Hz、47.5 ~ 61Hz	
解像度	1920 ドット × 1200 ライン			
推奨輝度	120cd/m ² 以下 (色温度：5000K ~ 6500K 時)			
ドットクロック (最大)	アナログ	170MHz		
	デジタル	164.5MHz		
最大表示色	約 10 億 7374 万色 (DisplayPort 10bit 入力時)			
表示サイズ (水平×垂直)	518.4mm × 324.0mm			
電源	AC100V ± 10%、50/60Hz、1.0A			
消費電力	画面表示時	100W 以下 (USB 機器接続時) 90W 以下 (USB 機器非接続時)		
	省電力モード時	1.0W 以下 (DVI-I (アナログ) 1 系統入力時、USB 機器非接続時、 [入力信号]：「マニュアル」設定時)		
	電源ボタンオフ時	0.7W 以下 (USB 機器非接続時)		
	主電源スイッチオフ時	0W		
信号入力コネクタ	DVI-I コネクタ (HDCP 対応) × 2			
	DisplayPort コネクタ (Standard V1.1a 準拠、HDCP 対応)			
アナログ信号 入力同期信号	セパレート、TTL、正 / 負極性 コンポジット、TTL、正 / 負極性			
アナログ信号 入力映像信号	アナログ、正極性 (0.7Vp-p/75 Ω)			
デジタル (DVI) 信号伝送方式	TMDS (Single Link)			
ビデオ信号メモリー (最大)	アナログ	45 種 (プリセット 10 種)		
プラグ&プレイ機能	アナログ / デジタル (DVI-I) 信号入力時：VESA DDC 2B/EDID structure 1.3 デジタル (DisplayPort) 信号入力時：VESA DisplayPort/EDID structure 1.4			
寸法	本体	566mm (幅) × 396.5 ~ 553.5mm (高さ) × 242 ~ 256mm (奥行き)		
	本体 (スタンドなし)	566mm (幅) × 382mm (高さ) × 92.5mm (奥行き)		
	遮光フード装着時	横置き	574mm (幅) × 561mm (高さ) × 365.5mm (奥行き)	
		縦置き	390mm (幅) × 646mm (高さ) × 365.5mm (奥行き)	

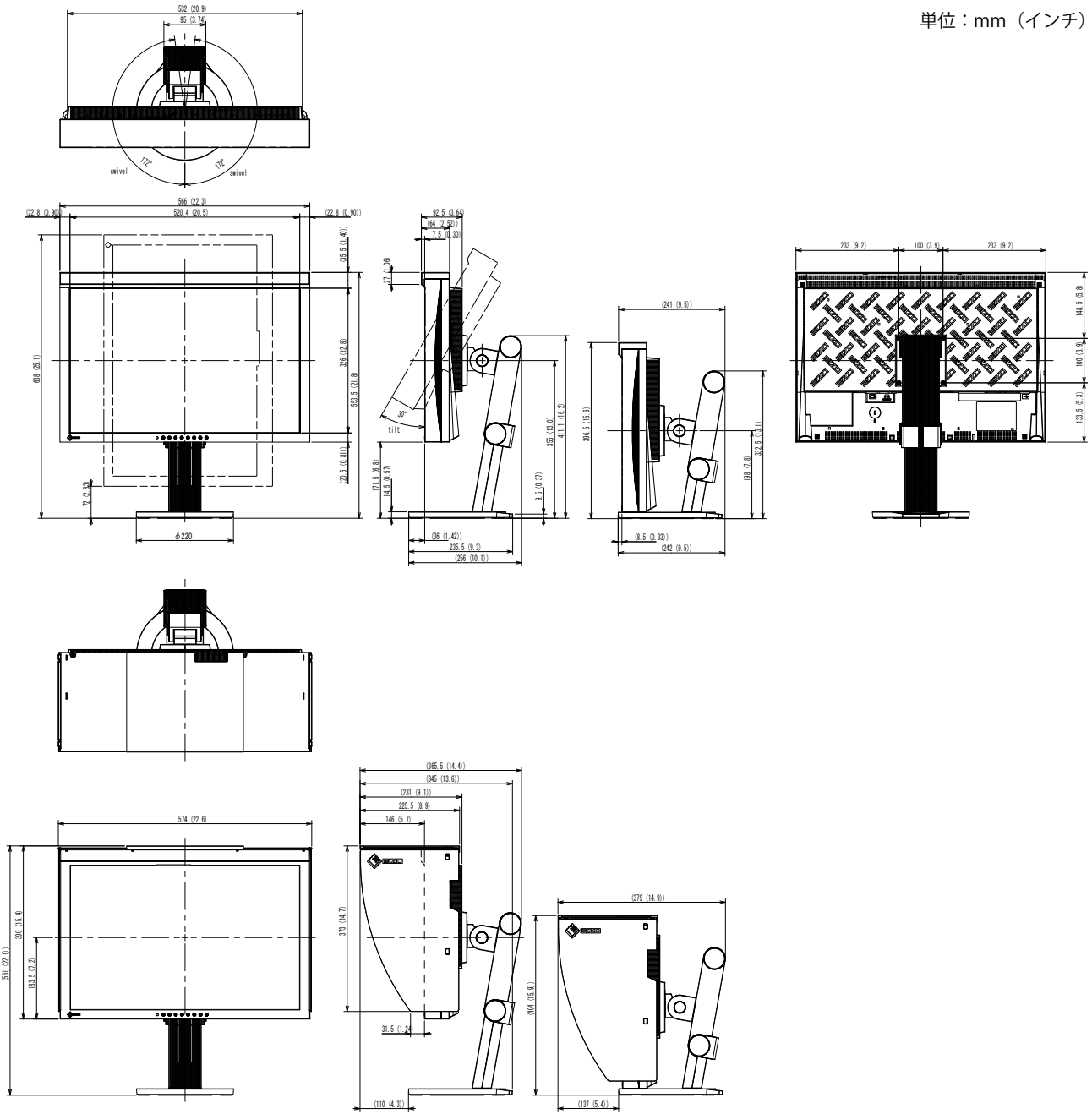
質量	本体	約 10.1kg
	本体（スタンドなし）	約 7.1kg
	遮光フード装着時	約 11.1kg
可動範囲	チルト角度	上 30° 下 0°
	スイーベル角度	右 172° 左 172°
	昇降	225mm（チルト 0° : 157mm）
	ローテーション	90°（時計回り）
環境条件	温度	動作温度範囲： 0°C～35°C 輸送および保存温度範囲： -20°C～60°C
	湿度	動作湿度範囲： 20%～80% R.H.（非結露状態） 輸送および保存湿度範囲： 10%～80% R.H.（非結露状態）
	気圧	動作気圧範囲： 700hPa～1060hPa 輸送および保存気圧範囲： 200hPa～1060hPa
USB	規格	USB Specification Revision 2.0 準拠
	ポート	アップストリーム×1、ダウンストリーム×2
	通信速度	480Mbps（ハイスピード）、12Mbps（フルスピード）、 1.5Mbps（ロースピード）
	供給電源	ダウンストリーム：最大 500mA/1 ポート

主な初期設定（工場出荷設定）値

カラーモード	Custom
パワーセーブ	オン
入力切替	マニュアル
画面サイズ	フル
輪郭補正	0
メニューポジション	中央
言語選択	日本語

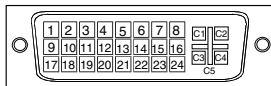
外観寸法

単位：mm（インチ）



入力信号接続

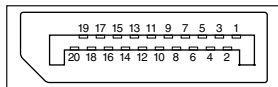
- DVI-I コネクタ



ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号
1	T.M.D.S. Data 2-	11	T.M.D.S. Data1/3 Shield	21	NC*
2	T.M.D.S. Data 2+	12	NC*	22	T.M.D.S. Clock shield
3	T.M.D.S. Data2/4 Shield	13	NC*	23	T.M.D.S. Clock+
4	NC*	14	+5V Power	24	T.M.D.S. Clock-
5	NC*	15	Ground (return for +5V, Hsync, and Vsync)	C1	Analog Red
6	DDC Clock (SCL)	16	Hot Plug Detect	C2	Analog Green
7	DDC Data (SDA)	17	T.M.D.S. Data0-	C3	Analog Blue
8	Analog Vertical Sync	18	T.M.D.S. Data0+	C4	Analog Horizontal Sync
9	T.M.D.S. Data1-	19	T.M.D.S. Data0/5 Shield	C5	Analog Ground(analog R,G,&B return)
10	T.M.D.S. Data1+	20	NC*		

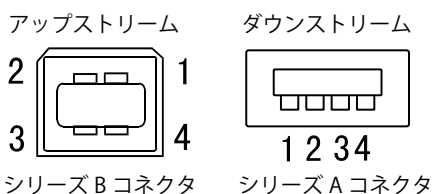
(NC*: No Connection)

- DisplayPort コネクタ



ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号
1	ML Lane3-	8	Ground	15	AUX CH+
2	Ground	9	ML Lane1+	16	Ground
3	ML Lane3+	10	ML Lane0-	17	AUX CH-
4	ML Lane2-	11	Ground	18	Hot Plug Detect
5	Ground	12	ML Lane0+	19	Return
6	ML Lane2+	13	CONFIG1	20	DP PWR
7	ML Lane1-	14	CONFIG2		

- USB ポート



接点番号	信号名	備考
1	VCC	ケーブル電源
2	- Data	シリアルデータ
3	+ Data	シリアルデータ
4	Ground	ケーブルグランド

7 - 6.用語集

色温度

白色の色合いを数値的に表したものを色温度といい、K：ケルビン（Kelvin）で表します。炎の温度と同様に、画面は色温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。

5000K: やや赤みがかかった白色（印刷業界で一般的に使われる色温度です）

6500K: 昼光色と呼ばれる白色（Web 閲覧に適した色温度です）

9300K: やや青みがかかった白色（テレビに一般的に使われる色温度です）

解像度

液晶パネルは決められた大きさの画素を敷き詰めて、その画素を光らせて画像を表示させています。本機種の場合は横 1920 個、縦 1200 個の画素がそれぞれ敷き詰められています。このため 1920 × 1200 の解像度であれば、画像は画面いっぱい（1 対 1）に表示されます。

ガンマ

一般に、モニターは入力信号のレベルに対して非直線的に輝度が変化していきます。これをガンマ特性と呼んでいます。画面はガンマ値が低いとコントラストが弱く、ガンマ値が高いとコントラストが強くなります。

クロック

アナログ入力方式のモニターにおいて、アナログ入力信号をデジタル信号に変換して画像を表示する際に、使用しているグラフィックスボードのドットクロックと同じ周波数のクロックを再生する必要があります。このクロックの値を調整することをクロック調整といい、クロックの値が正常でない場合は画面上に縦縞が現れます。

ゲイン

赤、緑、青それぞれの色の値を調整するものです。液晶モニターではパネルのカラーフィルターに光を通して色を表示しています。赤、緑、青は光の 3 原色であり、画面上に表示されるすべての色は 3 色の組み合わせによって構成されます。3 色のフィルターに通す光の強さ（量）をそれぞれ調整することによって、色調を変化させることができます。

フェーズ

アナログ入力信号をデジタル信号に変換する際のサンプリングタイミングのことです。このタイミングを調整することをフェーズ調整といいます。クロックを正しく調整した後でフェーズ調整をおこなうことをおすすめします。

レンジ調整

アナログ信号の出力レベルを調整し、すべての色階調を表示できるように調整します。カラー調整をおこなう前にはレンジ調整をおこなうことをおすすめします。

Adobe® RGB

アドビシステムズ社が 1998 年に提唱した実用的な RGB 色空間の定義です。色再現域・(色域)・が sRGB などに比べて広く、印刷などへの適合が高いという特長があります。

DCI(Digital Cinema Initiatives)

アメリカの映画スタジオが共同で設立した会社で、デジタルシネマに関する仕様を策定しています。

DisplayPort

VESA によって策定された、デジタルディスプレイ装置のためのデジタルインターフェースの規格です。DisplayPort では RGB それぞれ最大 16bit の映像信号を送信でき、また音声信号も送信することができます。(本機では映像信号は 8bit または 10bit に対応していますが、音声信号は非対応です。)

DVI (Digital Visual Interface)

デジタルインターフェース規格の一つです。コンピュータ内部のデジタルデータを損失なくダイレクトに伝送できます。

伝送方式に TMDS、コネクタに DVI コネクタを採用しています。デジタル入力のみ対応の DVI-D コネクタと、デジタル/アナログ入力可能な DVI-I コネクタがあります。

DVI DMPM (DVI Digital Monitor Power Management)

デジタルインターフェースの省電力機能のことです。モニターのパワー状態については Monitor ON (オペレーションモード) と Active Off (省電力モード) が必須となっています。

EBU(European Broadcasting Union)

欧州および北アフリカの放送局からなる組織で、技術規格の策定などをおこなっています。

HDCP (High-bandwidth Digital Contents Protection)

映像や音楽などのデジタルコンテンツの保護を目的に開発された、信号の暗号化方式。

DVI 端子を経由して送信されるデジタルコンテンツを出力側で暗号化し入力側で復号化することによりコンテンツを安全に伝送できます。

出力側と入力側の双方の機器が HDCP 対応していないと、コンテンツを再生できない仕組みになっています。

Rec709

ITU-R (International Telecommunication Union-Radio communication Sector : 国際電気通信連合の無線通信部門) が定義したデジタル放送 (HDTV) の基準です。

SMPTE-C

SMPTE (Society of Motion Picture and Television Engineers : 映画テレビ技術者協会) が規定した規格の一つです。

sRGB (Standard RGB)

周辺機器間（モニター、プリンタ、デジタルカメラ、スキャナなど）の「色再現性、色空間」を統一する目的で成立した国際基準のことです。インターネット用の簡易的な色合わせの手段として、インターネットの送り手と受け手の色を近い色で表現できます。

TMDs (Transition Minimized Differential Signaling)

デジタルインターフェースにおける、信号伝送方式の一つです。

VESA DPMS (Video Electronics Standards Association - Display Power Management Signaling)

VESAでは、コンピュータ用モニターの省エネルギー化を実現するため、コンピュータ（グラフィックボード）側からの信号の標準化をおこなっています。DPMSはコンピュータとモニター間の信号の状態について定義しています。

7 - 7. プリセットタイミング

工場出荷時に設定されているビデオタイミングは以下のとおりです（アナログ信号のみ）。

注意点

- 接続されるコンピュータの種類により表示位置等がずれ、調整メニューで画面の調整が必要になる場合があります。
- 一覧表に記載されている以外の信号を入力した場合は、調整メニューで画面の調整をおこなってください。ただし、調整をおこなっても画面を正しく表示できない場合があります。
- インターレースの信号は、調整メニューで調整をおこなっても画面を正しく表示することができません。

解像度	対応信号	周波数			極性	
		ドット クロック： MHz	水平：kHz	垂直：Hz	水平	垂直
720 × 400	VGA TEXT	28.32	31.47	70.09	負	正
640 × 480	VGA	25.18	31.47	59.94	負	負
800 × 600	VESA	40.00	37.88	60.32	正	正
1024 × 768	VESA	65.00	48.36	60.00	負	負
1280 × 960	VESA	108.00	60.00	60.00	正	正
1280 × 1024	VESA	108.00	63.98	60.02	正	正
1600 × 1200	VESA	161.99	75.00	60.00	正	正
1680 × 1050	VESA CVT	146.25	65.29	59.95	負	正
1920 × 1080	CEA-861	148.50	67.50	60.00	正	正
1920 × 1200	VESA CVT RB	154.00	74.04	59.95	正	負

アフターサービス

本製品のサポートに関してご不明な場合は、エイゾーサポートにお問い合わせください。エイゾーサポート一覧は別紙の「お客様ご相談窓口のご案内」に記載してあります。

保証書について

- この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、販売店の捺印の有無、および記載内容をご確認ください。なお、保証書は再発行致しませんので、大切に保管してください。
- 当社では、この製品の補修用部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製品の製造終了後、最低7年間保有しています。補修用部品の最低保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、エイゾーサポートにご相談ください。

修理を依頼されるとき

- 保証期間中の場合
保証書の規定にしたがい、エイゾーサポートにて修理をさせていただきます。お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご連絡ください。
- 保証期間を過ぎている場合
お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご相談ください。修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- お名前・ご連絡先の住所・電話番号 / FAX 番号
- お買い上げ年月日・販売店名
- モデル名・製造番号
(製造番号は、本体の背面部のラベル上および保証書に表示されている8けたの番号です。例) S/N 12345678)
- 使用環境（コンピュータ / グラフィックスボード / OS・システムのバージョン / 表示解像度等）
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
- SelfCalibration に失敗した場合、エラーコード

修理について

- 修理の際に当社の品質基準に達した再生部品を使用することがありますのであらかじめご了承ください。

製品回収・リサイクルシステムについて

- ・パソコン及びパソコン用モニターは「資源有効利用促進法」の指定再資源化製品に指定されており、メーカーは自主回収及び再資源化に取り組むことが求められています。当社は、使用済みモニターの回収・リサイクル体制を構築しており、お客様が本製品をご使用後に廃棄する際は下記の要領でお引取りしています。
- ・なお、詳しい情報については、当社のホームページもあわせてご覧ください。
(<http://www.eizo.co.jp>)

法人のお客様

本製品は、法人のお客様が使用後産業廃棄物として廃棄される場合、有償でお引取りいたします。詳細については下記までお問合せください。

[エイゾーサポートネットワーク株式会社]

電話での問合せ受付	FAXでの問合せ受付
076-274-7369 (専用)	076-274-2416
月曜日～金曜日 (祝日及び当社休日を除く) 9:30～17:30	24時間受付 但し、回答は営業時間帯 (電話受付時間帯と同じ)

個人のお客様

PCリサイクルマークの無償提供について

本製品は、PCリサイクル対象製品です。当社では、本製品をご購入いただいた個人のお客様にPCリサイクルマークを無償でご提供しております。ご購入後すぐに、下記のWebサイトからお申し込みください。

マークは本体背面部のラベルの近くに貼付ください。

情報機器リサイクルセンター

ホームページ：<http://www.pc-eco.jp>

※「PCリサイクルマーク申込」からお入りください。

(回収担当窓口は、情報機器リサイクルセンターにて対応いたします。)

申し込みには、本体の背面部のラベル上に記載されているモデル名と製造番号が必要となります。

PCリサイクルマークについて



個人のお客様が、このマークがついた当社製品の回収を情報機器リサイクルセンターにご依頼いただいた場合は、お客様に料金を負担いただくことなく回収・再資源化いたします。

お問い合わせ

本件に関するお問い合わせは、情報機器リサイクルセンターまでお願いいたします。

情報機器リサイクルセンター

電話：03-3455-6107

月曜日～金曜日（祝日及び年末年始を除く）9:00～17:00



Congratulations!

The display you have just purchased carries the TCO'03 Displays label. This means that your display is designed, manufactured and tested according to some of the strictest quality and environmental requirements in the world. This makes for a high performance product, designed with the user in focus that also minimizes the Impact on our natural environment.

Some of the features of the TCO'03 Display requirements:

Ergonomics

- Good visual ergonomics and image quality in order to improve the working environment for the user and to reduce sight and strain problems. Important parameters are luminance, contrast, resolution, reflectance, colour rendition and image stability.

Energy

- Energy-saving mode after a certain time - beneficial both for the user and environment
- Electrical safety

Emissions

- Electromagnetic fields
- Noise emissions

Ecology

- The products must be prepared for recycling and the manufacturer must have a certified environmental management system such as EMAS or ISO 14000
- Restrictions on
 - chlorinated and brominated flame retardants and polymers
 - heavy metals such as cadmium, mercury and lead.

The requirements included in this label have been developed by TCO Development in co-operation with scientists, experts, users as well as manufacturers all over the world. Since the end of the 1980s TCO has been involved in influencing the development of IT equipment in a more user-friendly direction. Our labeling system with displays in 1992 and is now requested by users and IT-manufacturers all over the world.

For more information, please visit

www.tcodevelopment.com

このたびお求めのモニターには、TCO'03 ラベルが貼り付けられています。これはこのモニターが世界でも最も厳しい、いくつかの品質・環境要求に従って開発され、製造されたものであることを示しています。TCO'03 ラベルは、ユーザー主体の高性能な製品の開発や、自然環境への影響を最小限に抑制するために役立っています。

TCO'03 モニターにはいくつかの要求事項があります。

エルゴノミクス

ユーザーの作業環境を改善し、視覚や疲労の問題を軽減するために、優れたビジュアルエルゴノミクスと画像品質が求められます。輝度、コントラスト、解像度、反射率、演色性、画像の安定性といった項目が重要な要素となります。

エネルギー

一定時間経過後に節電モードに移行することが求められます。これはユーザーおよび環境の双方に有益な要求です。電気的安全性についても求められています。

エミッション

電磁界やノイズの発生に対する要求事項があります。

エコロジー

TCO'03 製品は、リサイクルシステムを整備しなければなりません。また製造者は EMAS や ISO 14000 といった環境マネジメントシステムの認証を受けなければなりません。

塩素系または臭素系難燃剤および高分子化合物の、製品への使用が規制されています。またカドミウム、水銀、鉛などの重金属についても使用が規制されています。

TCO'03 の要求事項は、製造者に加えて世界中の科学者、専門家、ユーザーの協力のもとに TCO Development によって監修されています。1980 年後半より、TCO はユーザーフレンドリーな IT 機器の開発に影響を及ぼすべく関与してきました。モニター分野における TCO ラベリングシステムは 1992 年より始まりました。現在では世界中のユーザーや IT 企業に求められているシステムです。

さらに詳しい情報は www.tcodevelopment.com を参照してください。

关于电子信息产品污染控制标识



本标识根据「电子信息产品污染控制管理办法」，适用于在中华人民共和国销售的电子信息产品。标识中央的数字为环保使用期限的年数。只要您遵守该产品相关的安全及使用注意事项，在自制造日起算的年限内，不会产生对环境污染或人体及财产的影响。上述标识粘贴在机器背面。

• 有毒有害物质或元素的名称及含量

部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr (VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
印刷电路板	×	○	○	○	○	○
机箱	○	○	○	○	○	○
液晶显示器	×	×	○	○	○	○
其他	×	○	○	○	○	○

○：表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求以下。
 ×：表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求。（企业可在此处，根据实际情况对上表中打“×”的技术原因进行进一步说明）

